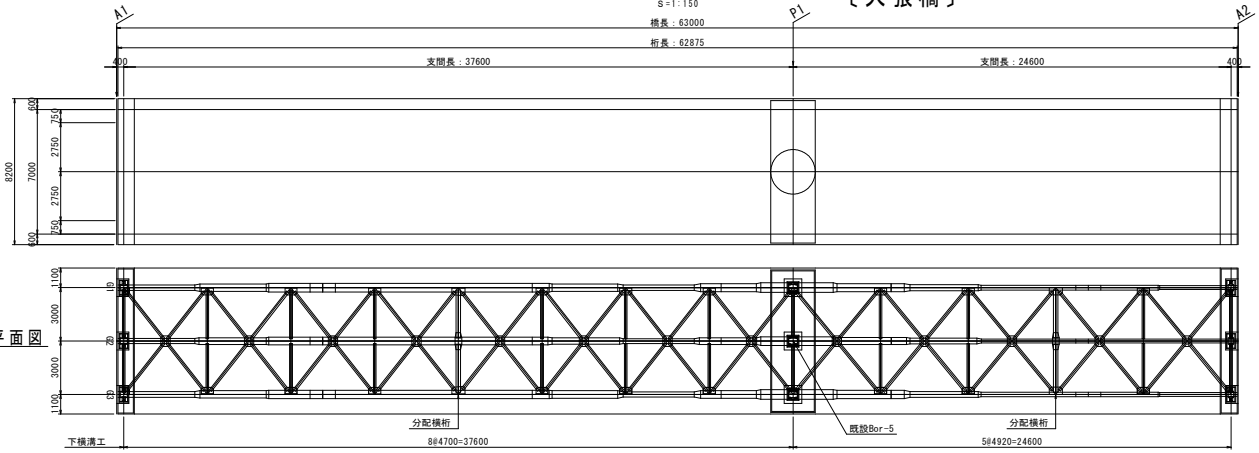
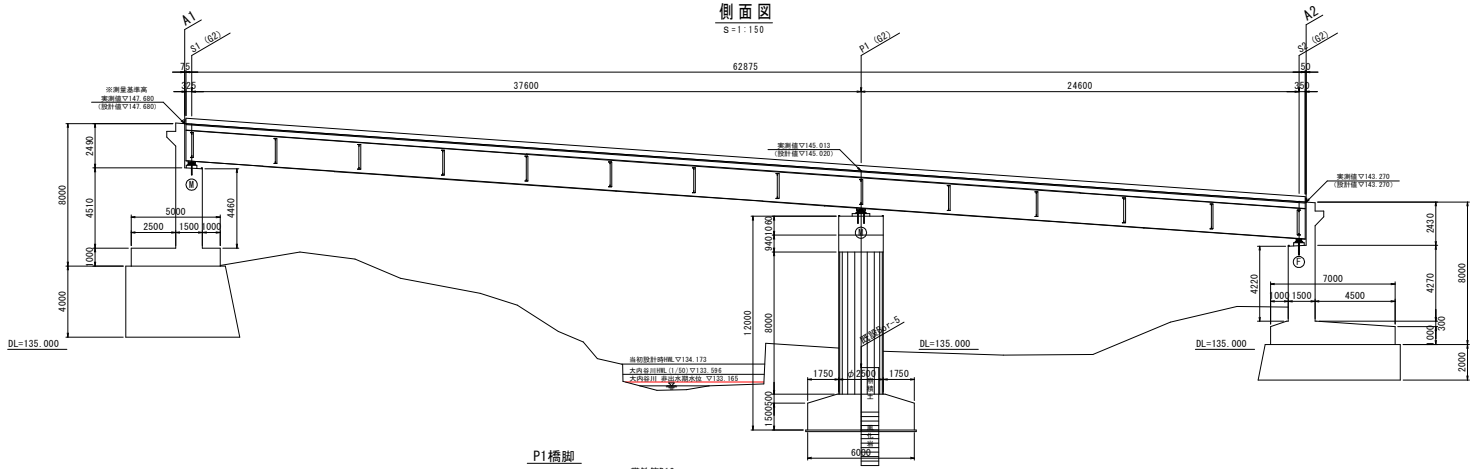
既設橋梁復元図
〔大張橋〕

平面図
S=1:150

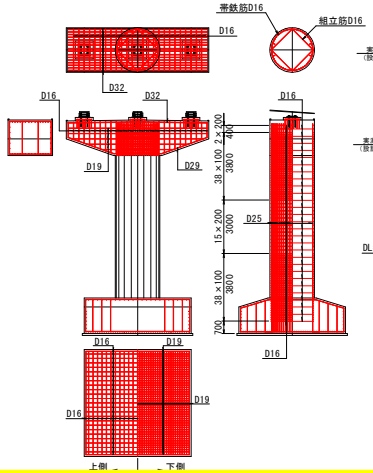


上部工構造平面図

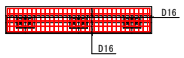
側面図
S=1:150



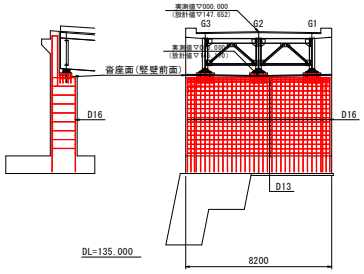
P1橋脚



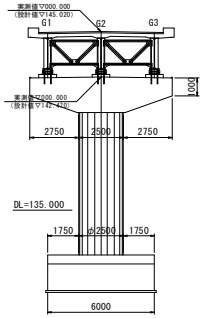
A1橋台



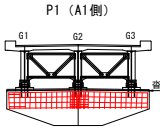
S1支点上



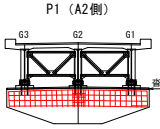
P1支点上



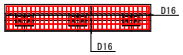
P1 (A1側)



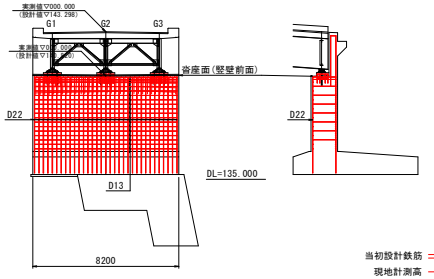
P1 (A2側)



A2橋台



S2支点上



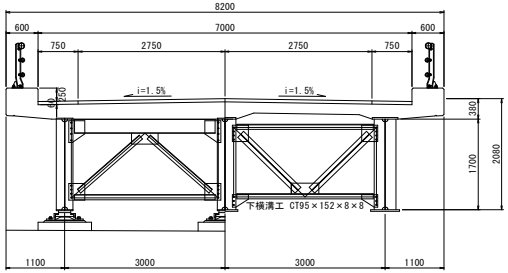
当初設計鉄筋
現地計測高
探査鉄筋

既設橋梁諸元

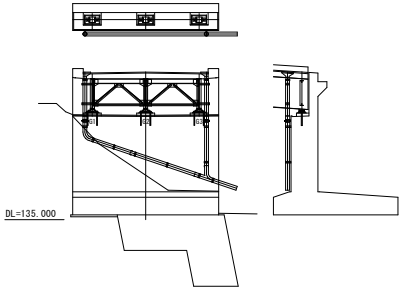
橋梁名		大張橋
所在地		吉野川市山川町大内
架橋年度		平成3年（1991年）
路線名		徳島県道248号 奥野井阿波山川停車場線
交差物件		大内谷川（吉野川市管理）・奥野井谷川（徳島県管理）
道路規格		第3種第4級
橋梁幅員		地覆0.60m＋路肩0.75m＋車線5.50m＋路肩0.75m＋地覆0.60m＝全幅8.20m
設計荷重		TL-20
橋梁等級		一等橋
橋長		63.0m
形式	上部工	2径間連続非合成鈑桁（耐候性鋼材仕様）
	下部工	逆T式橋台 張出式橋脚（円柱式）
	基礎	直接基礎
使用材料	上部工 鋼材	耐候性鋼材 SMA41W・SMA50W・F10TW
	上部工 床版コンクリート	σck＝24N/mm2
	上部工 床版鉄筋	SD30A（σsa=140N/mm2）
	下部工 コンクリート	σck＝21N/mm2
	下部工 鉄筋	SD30A（σsa=180N/mm2 ※大気中）
適用基準書		道路橋示方書・同解説（昭和55年）

上部工断面図
S=1:50

端支点部　　中間支点部



A2橋台（排水施設）

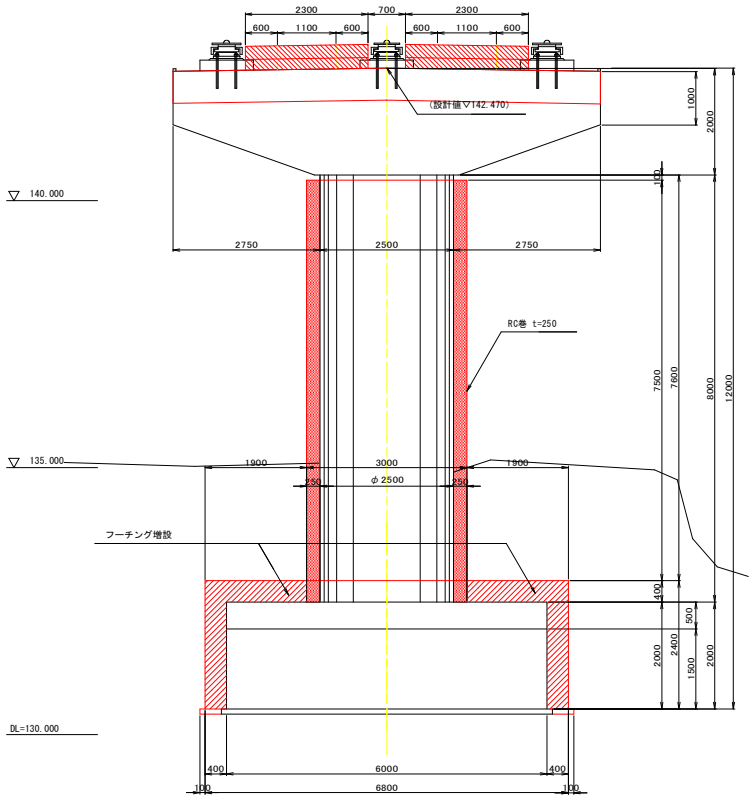


当初設計図面

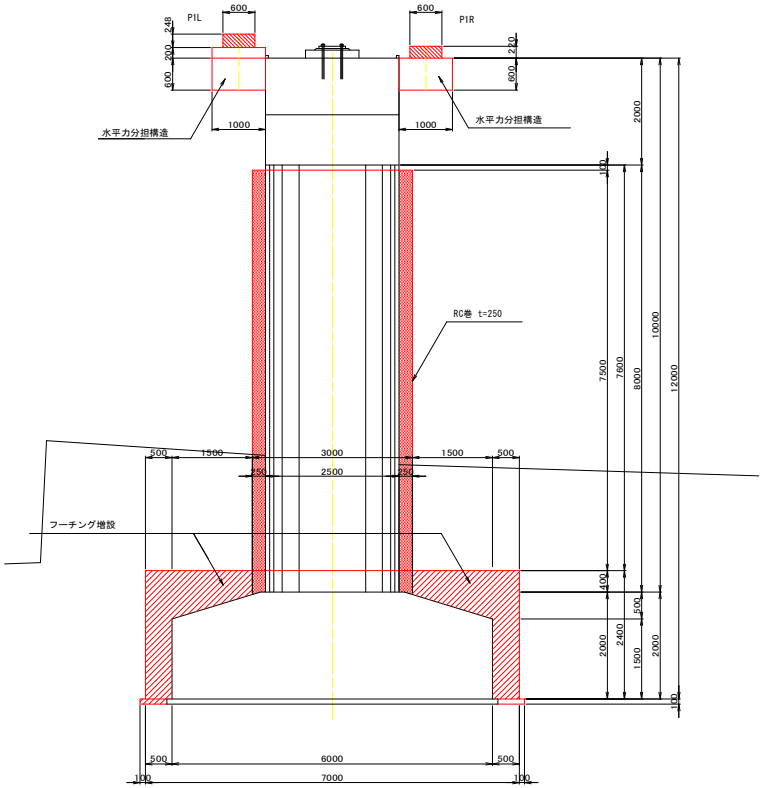
工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	既設橋梁復元図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

P1橋脚補強構造一般図 S=1:50

正面図

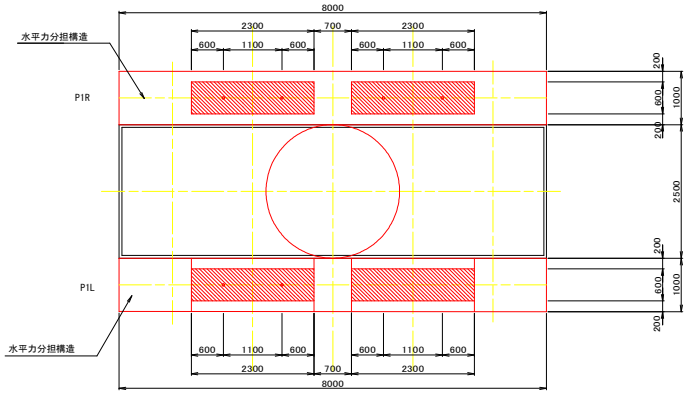


側面図

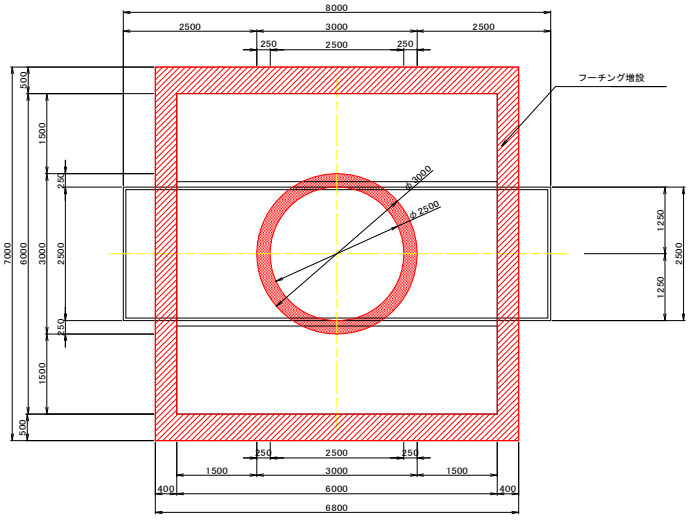


平面図

梁



フーチング



使用材料一覧表

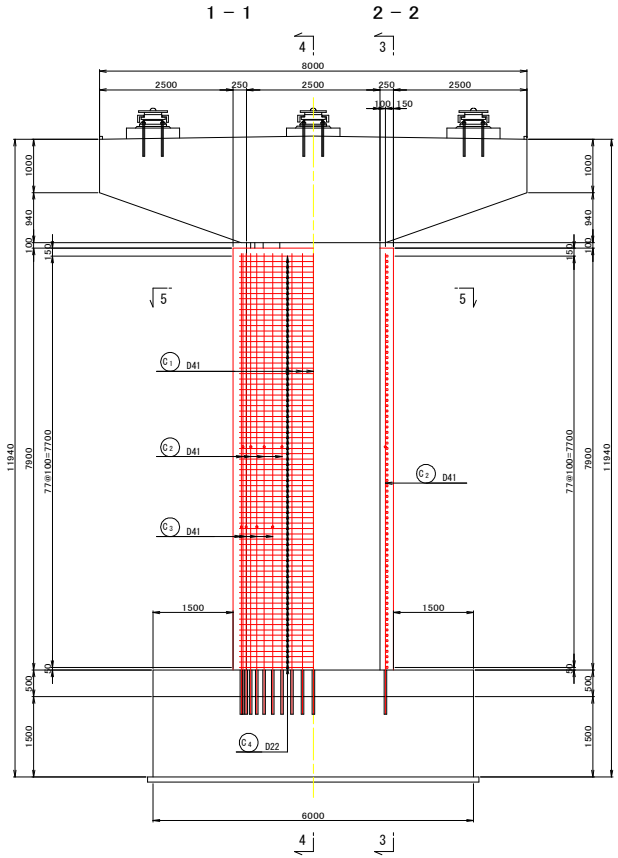
使用区分		コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
既設	躯体・フーチング	σck=21N/mm²	SD295A
	均しコンクリート	σck=18N/mm²	----
補強	躯体・フーチング	σck=24N/mm²	SD345
	均しコンクリート	σck=18N/mm²	----

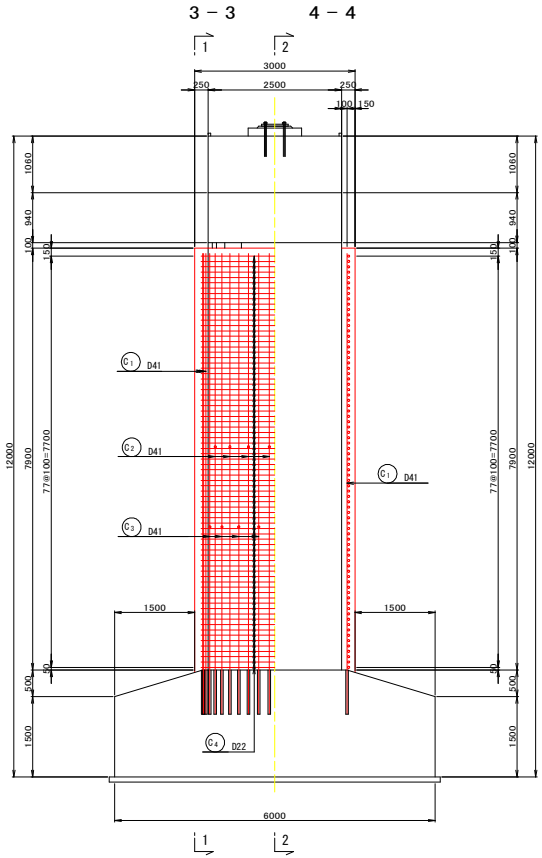
当初設計図面

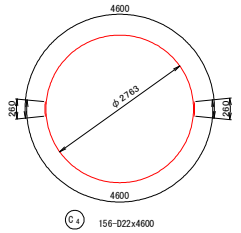
工事名	R5吉土 奥野井阿波山川停車場線（大強橋他） 吉・山川大内他 橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大強橋他）		
図面名	P1橋脚補強構造一般図		
縮尺	図 示	図面番号	2 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

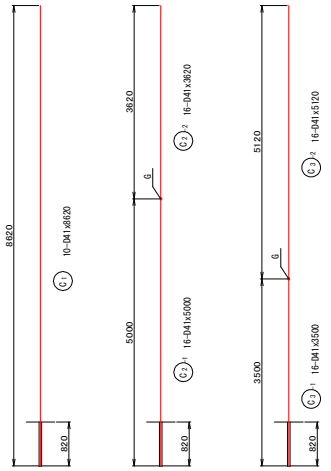
P1橋脚補強配筋図（その1） S=1:50

〔ＲＣ巻立工法〕

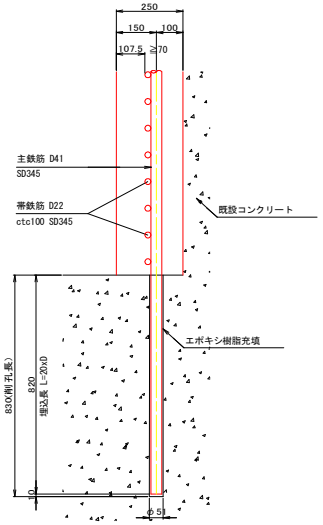








アンカー工詳細図 S=1:10

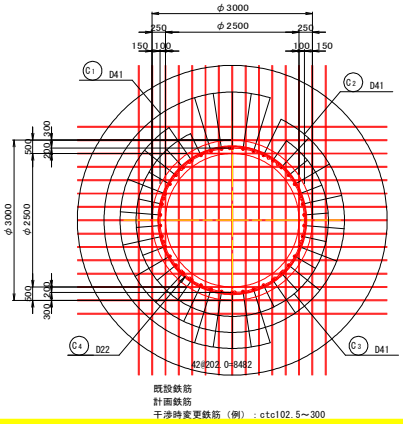


鉄筋質量表 （SD345）

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
C 1	D41	8620	10	10.5	90.51	905	
C 2-1	D41	5000	16	10.5	52.50	840	
C 2-2	D41	3620	16	10.5	38.01	608	(16)
C 3-1	D41	3500	16	10.5	36.75	588	
C 3-2	D41	5120	16	10.5	53.76	860	(16)
C 4	D22	4600	156	3.04	13.98	2181	[156]
						5982 kg	

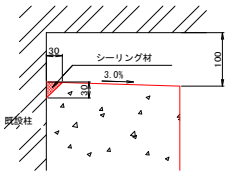
ガス圧接箇所	フレア溶接箇所
D41 3801 kg	(32)
D22 2181 kg	[156]
合 計 5982 kg	

5 － 5

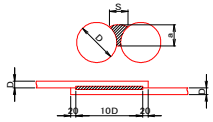


既設鉄筋
計画鉄筋
干渉時変更鉄筋（例）：ctc102.5～300

補強天端詳細図 S=1:5



フレアー溶接詳細図 S=1:10



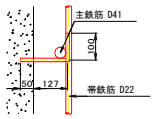
D	L	S	a
D16	200	8.0	3.2
D19	230	9.5	4.4
D22	260	11.0	5.6

D：鉄筋径（呼び径）

S：ビードの幅　　S = 0.5xD

a：のど厚　　a = 0.39xD-3

組立用アンカー筋参考図 S=1:10



D13×280
1m2当たり1本配置する。

【注記】

1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 柱補強軸方向鉄筋の中心間隔は鉄筋径の2.5倍以上300mm以下で変更可能である。
5. 帯鉄筋の継手位置は90°回転させ高さ方向に千鳥配置すること。

当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	P1橋脚補強配筋図（その1）		
縮尺	図 示	図面番号	3 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

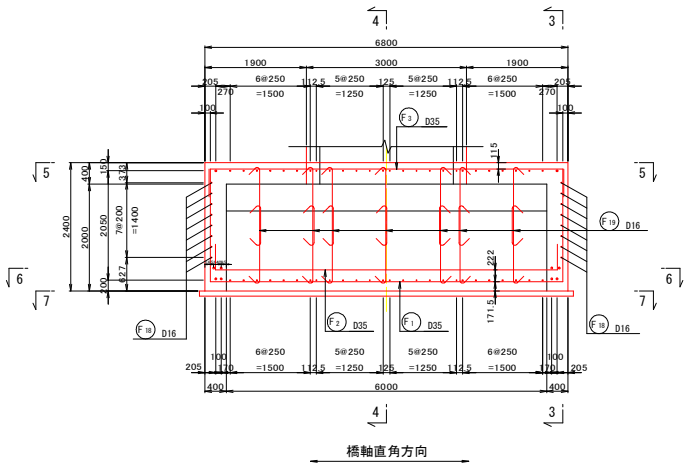
P1橋脚補強配筋図（その2）

〔底版拡幅工法〕

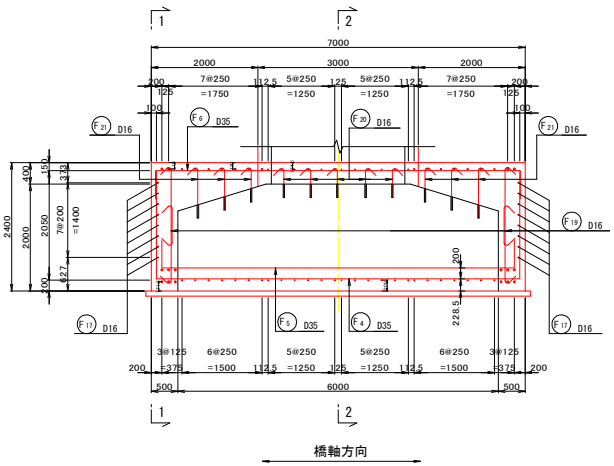
底版側面図

S=1:50

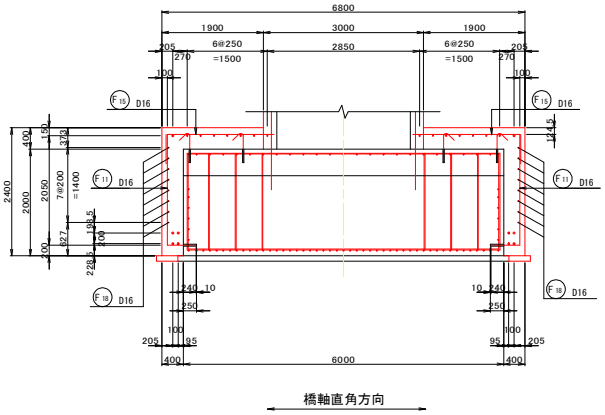
橋軸直角方向（端部）〔1 － 1〕



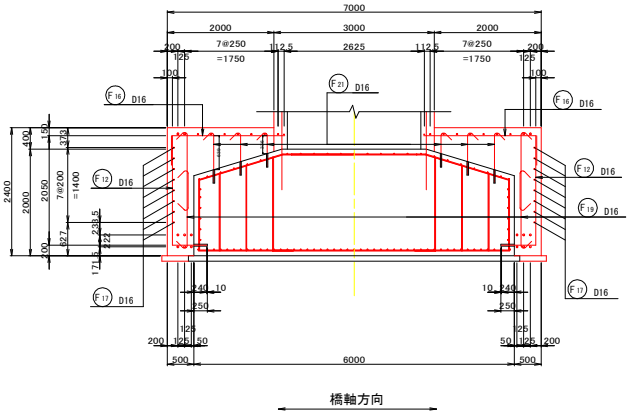
橋軸方向（端部）〔3 － 3〕



橋軸直角方向（中央部）〔2 － 2〕

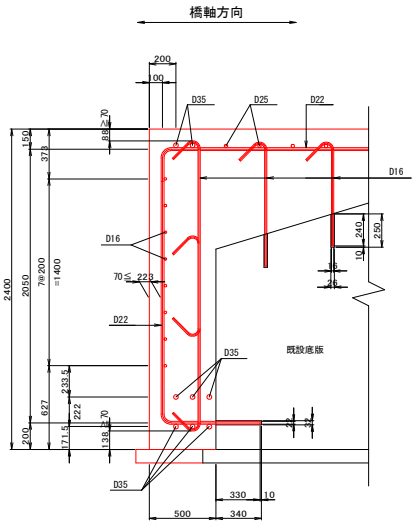


橋軸方向（中央部）〔4 － 4〕



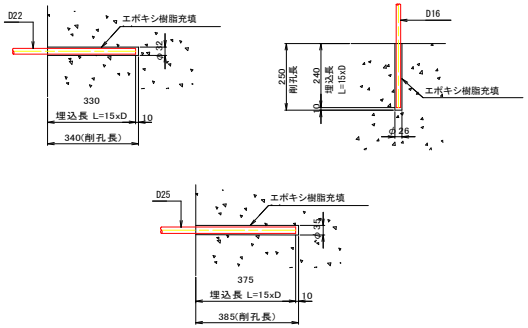
底版かぶり詳細図

S=1:20



アンカー工詳細図

S=1:10



【注記】

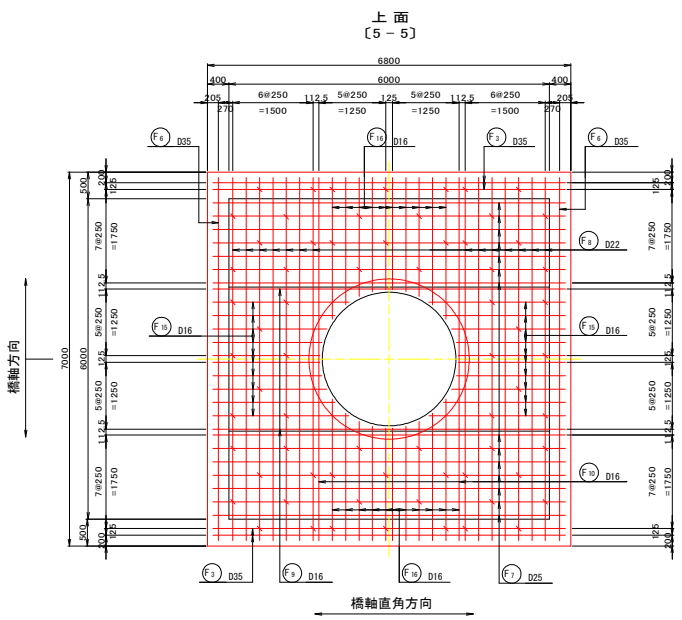
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 柱補強軸方向鉄筋の中心間隔は鉄筋径の2.5倍以上300mm以下で変更可能である。
5. 帯鉄筋の継手位置は90°回転させ高さ方向に千鳥配置すること。

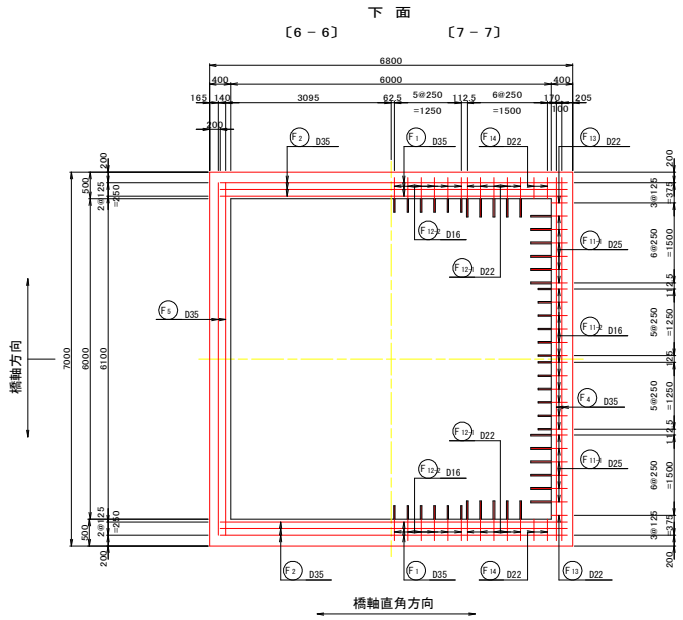
当初設計図面

工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	P1橋脚補強配筋図（その2）		
縮尺	図 示	図面番号	4 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

P1橋脚補強配筋図（その3）

〔底版拡幅工法〕



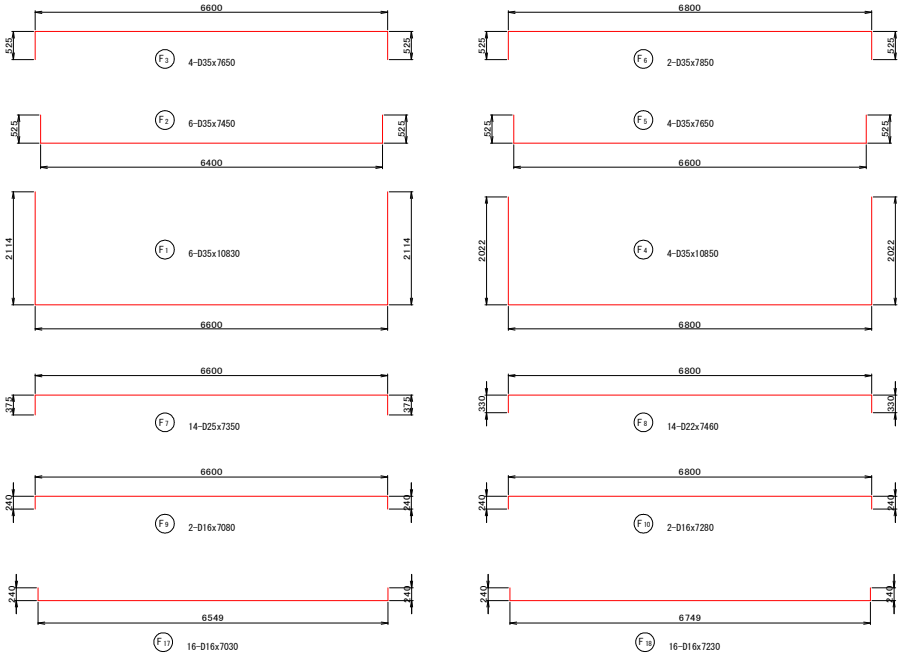


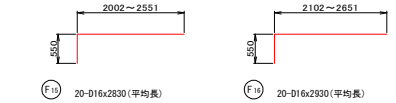
鉄筋質量表（SD345）

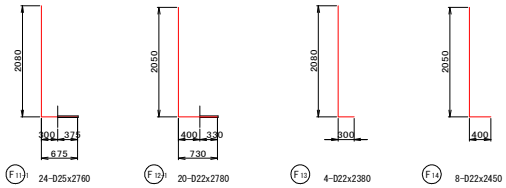
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 1	D35	10830	6	7.51	81.33	488	
F 2	D35	7450	6	7.51	55.95	336	
F 3	D35	7650	4	7.51	57.45	230	
F 4	D35	10850	4	7.51	81.48	326	
F 5	D35	7650	4	7.51	57.45	230	
F 6	D35	7850	2	7.51	58.95	118	
F 7	D25	7350	14	3.98	29.25	410	
F 8	D22	7460	14	3.04	22.68	318	
F 9	D16	7080	2	1.56	11.04	22	
F 10	D16	7280	2	1.56	11.36	23	
F 11-1	D25	2760	24	3.98	10.98	264	
F 11-2	D16	2620	24	1.56	4.09	98	
F 12-1	D22	2780	20	3.04	8.45	169	
F 12-2	D16	2690	24	1.56	4.20	101	
F 13	D22	2380	4	3.04	7.24	29	
F 14	D22	2450	8	3.04	7.45	60	
F 15	D16	2830	20	1.56	4.41	88	(平均長)
F 16	D16	2930	20	1.56	4.57	91	(平均長)
F 17	D16	7030	16	1.56	10.97	176	
F 18	D16	7230	16	1.56	11.28	180	
F 19	D16	1910	28	1.56	2.98	83	
F 20	D16	760	16	1.56	1.19	19	
F 21	D16	1010	38	1.56	1.56	60	(平均長)
						3919 kg	

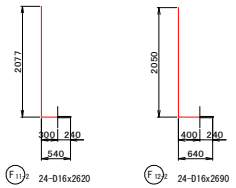
D35	1728 kg
D25	674 kg
D22	576 kg
D16	941 kg
合 計	3919 kg

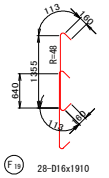
削孔 φ35×385 24箇所
削孔 φ32×340 20箇所
削孔 φ26×250 102箇所

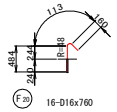


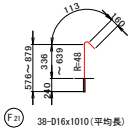












【注記】

1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 柱補強軸方向鉄筋の中心間隔は鉄筋径の2.5倍以上300mm以下で変更可能である。
5. 帯鉄筋の継手位置は90°回転させ高さ方向に千鳥配置すること。

当初設計図面

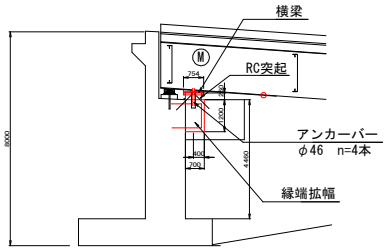
工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大強橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大強橋他）		
図面名	P1橋脚補強配筋図（その3）		
縮尺	図 示	図面番号	5 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

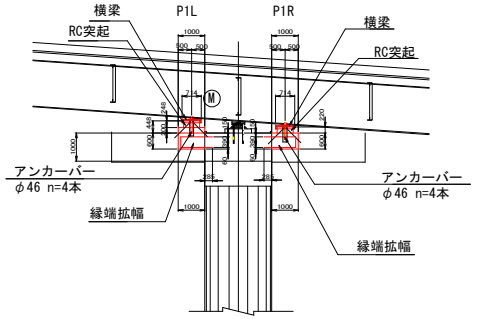
水平力分担装置一般図 〔横梁＋アンカーバー＋縁端拡幅〕

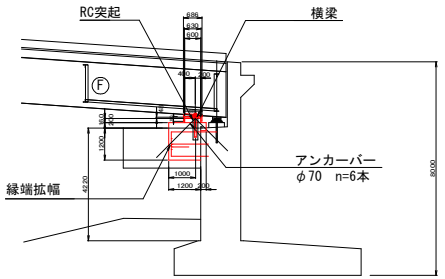
S=1:100

A1橋台　　P1橋脚　　A2橋台

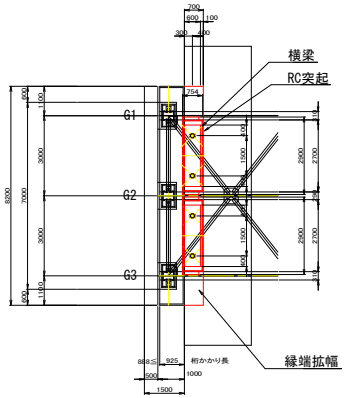
側面図

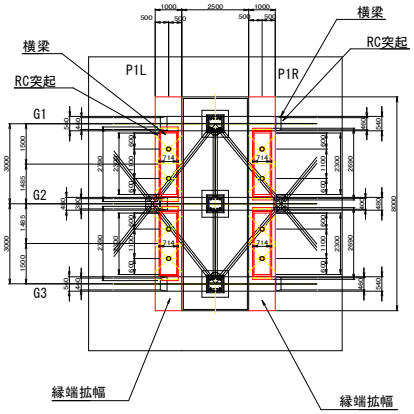


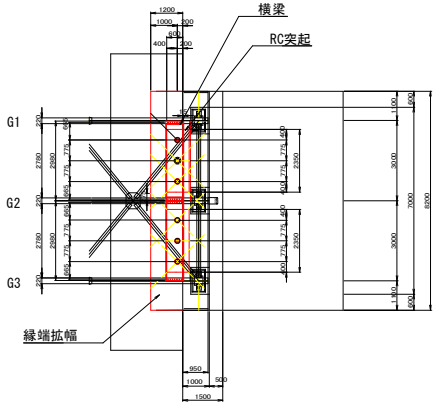




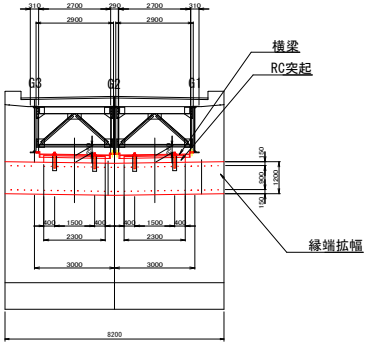
平面図

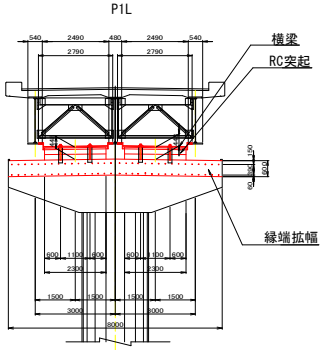


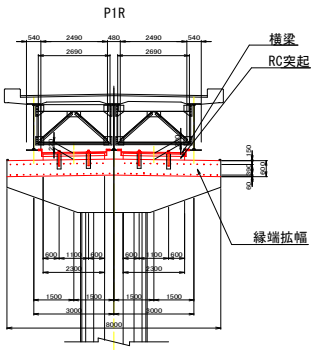


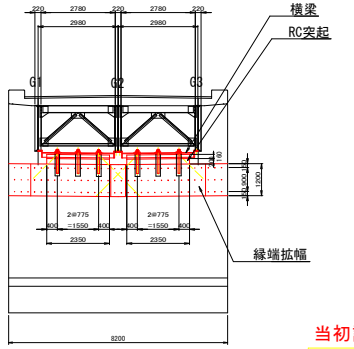


正面図









【注記】
1. 既設構造物の現地計測を行ったうえで部材製作および現場施工を行うこと。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理(チッピング)を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。
5. 横梁アンカーバー孔位置は、先行施工された縁端拡幅部およびＲＣ突起部のアンカーバー施工位置を確認したうえで決定すること。

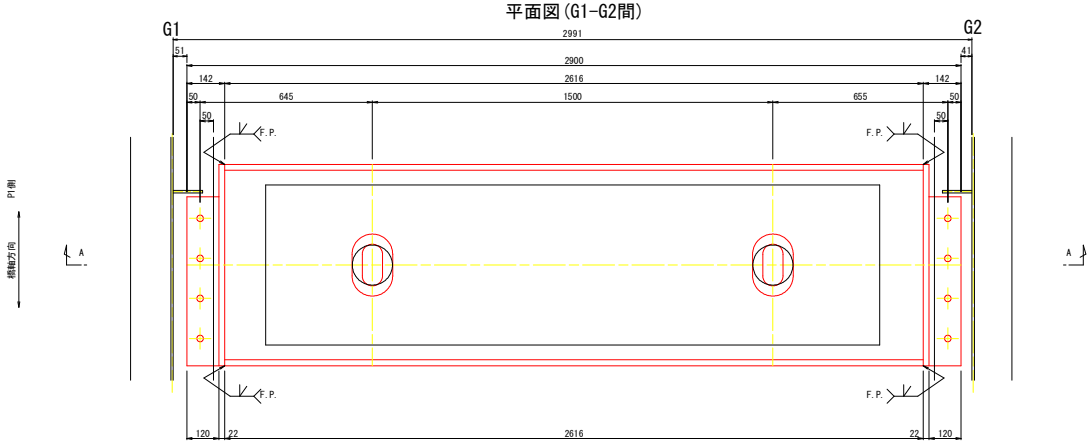
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置一般図		
縮尺	図 示	図面番号	6 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

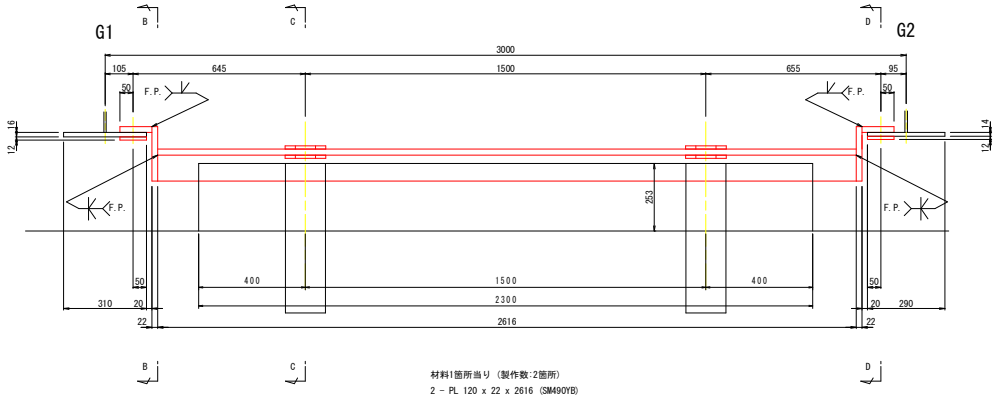
水平力分担装置詳細図（その1）　〔A１〕

S=1:10

平面図(G1-G2間)

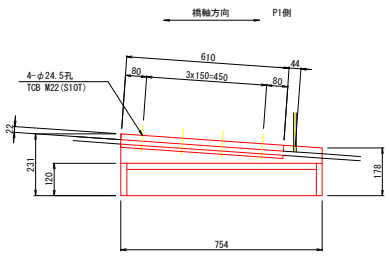


A － A

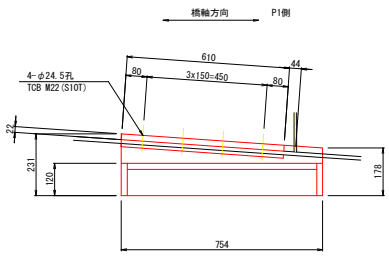


材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 120 x 22 x 2616 (SM490YB)
1 － PL 710 x 22 x 2616 (SM490YB)

B － B



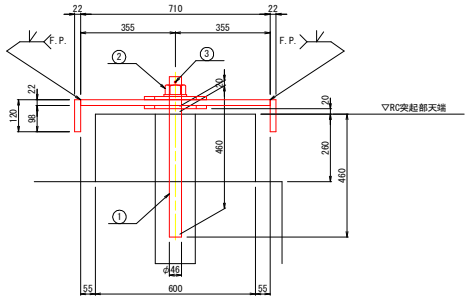
D － D



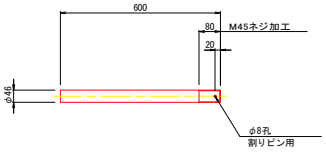
材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 120 x 22 x 610 (SM490YB)
2 － PL 231 x 22 x 754 (SM490YB) NET=0.885
8 － TCB M22 x 85 (S10T)

アンカーバー詳細図

C － C

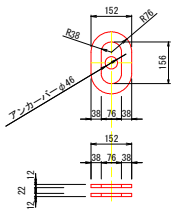


材料1箇所当り（製作数:4箇所）
2　1 － ナット(1種) M45(SS400)
　　1 － ワッシャー M45(SS400)
3　1 － 割ピン φ8 x 71L (SUS304)



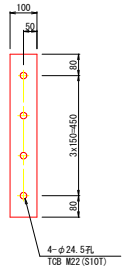
材料1箇所当り（製作数:4箇所）
1　1 － アンカーバー φ46、L=600(S45CN)

補強板詳細図



材料1箇所当り（製作数:4箇所）

添接板詳細図



1箇所当り数量(製作数:2箇所)

【注記】
1. 既設構造物の現地計測を行ったうえで部材製作および現場施工を行うこと。
2. 横梁アンカーバー孔位置は、先行施工された縁端拡幅部およびＲＣ突起部のアンカーバー施工位置を確認したうえで決定すること。
3. 鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。（鋼材・その他：HDZ55，ボルト・ナット類：HDZ35）
4. 「FP」の表示のある箇所は完全溶込み溶接を用いる。
5. 本図はG1-G2桁間を示しており、G2-G3桁間についてはG2桁を中心に左右対称の構造に製作すること。
6. 横梁取付時に下横構を一時撤去する必要があるが、下横構は暴風時水平力の荷重分散部材であるため、悪天候時には撤去しないこと。

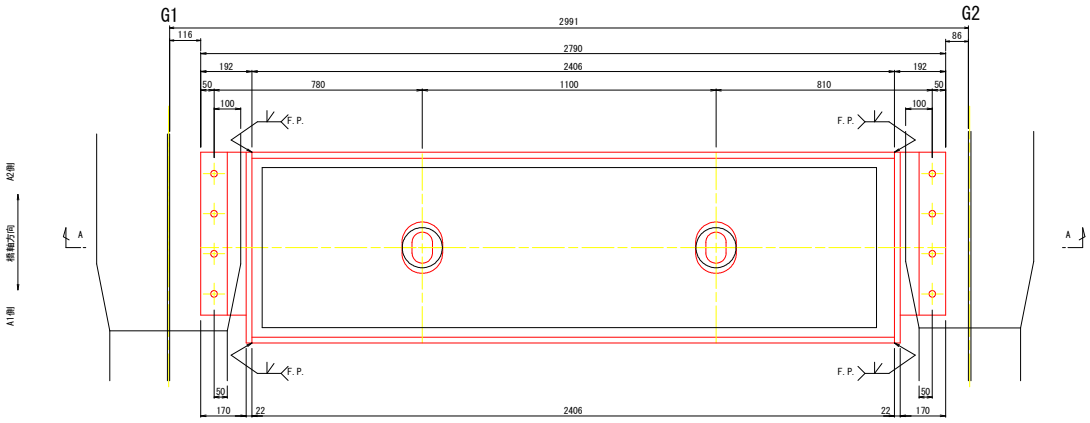
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置詳細図（その1）		
縮尺	図 示	図面番号	7 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

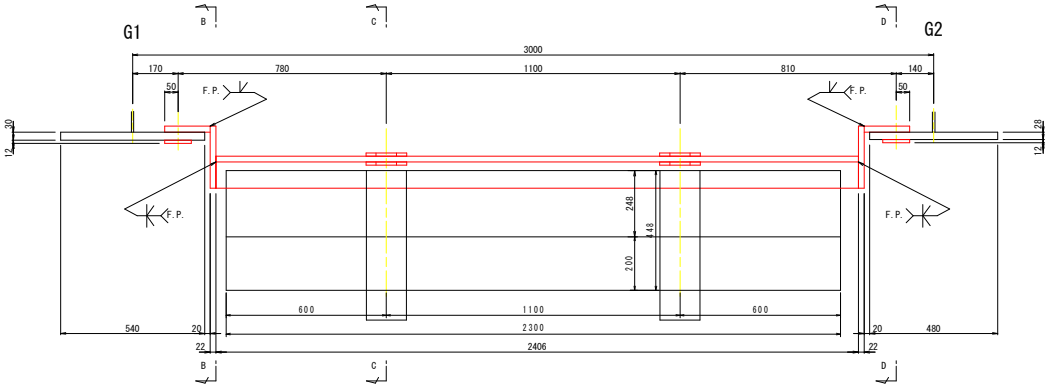
水平力分担装置詳細図（その2）　〔P1L（A1側）〕

S=1:10

平面図(G1-G2間)

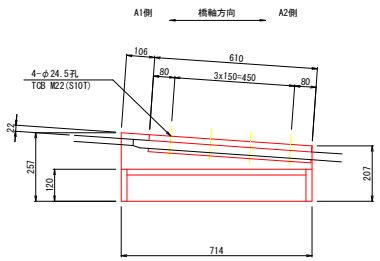


A－A

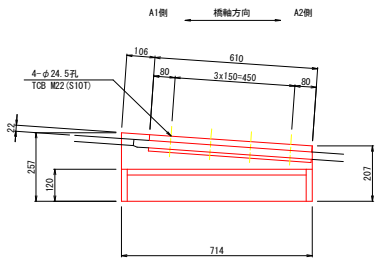


材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 120 x 22 x 2406 (SM490YB)
1 － PL 670 x 22 x 2406 (SM490YB)

B－B



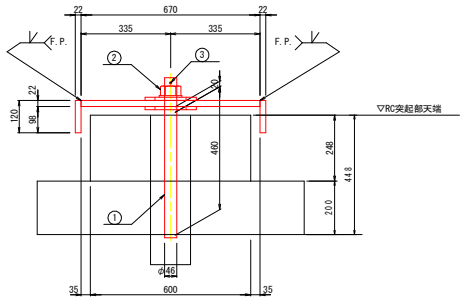
D－D



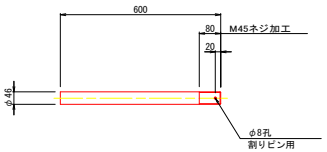
材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 170 x 22 x 610 (SM490YB)
2 － PL 257 x 22 x 714 (SM490YB)NET=0.904
8 － TCB M22 x 100 (S10T)

アンカーバー詳細図

C － C

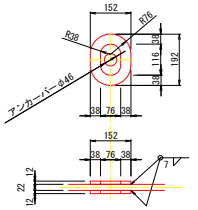


材料1箇所当り（製作数:4箇所）
2　1 － ナット(1種) M45(SS400)
　　1 － ワッシャー M45(SS400)
3　1 － 割ピン φ8 x 71L (SUS304)



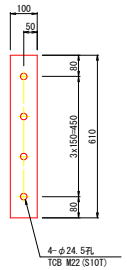
材料1箇所当り（製作数:4箇所）
1　1 － アンカーバー φ46、L=600(S45CN)

補強板詳細図



材料1箇所当り（製作数:4箇所）
2-PL 152x12x192 (SM490YA)NET=0.570

添接板詳細図



1箇所当り数量(製作数:2箇所)
2 － PL 100 x 12 x 610 (SM490YA)

【注記】
1. 既設構造物の現地計測を行ったうえで部材製作および現場施工を行うこと。
2. 横梁アンカーバー孔位置は、先行施工された縁端拡幅部およびＲＣ突起部のアンカーバー施工位置を確認したうえで決定すること。
3. 鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。（鋼材・その他：HDZ55，ボルト・ナット類：HDZ35）
4. 「FP」の表示のある箇所は完全溶込み溶接を用いる。
5. 本図はG1-G2桁間を示しており、G2-G3桁間についてはG2桁を中心に左右対称の構造に製作すること。
6. 横梁取付時に下横構を一時撤去する必要があるが、下横構は暴風時水平力の荷重分散部材であるため、悪天候時には撤去しないこと。

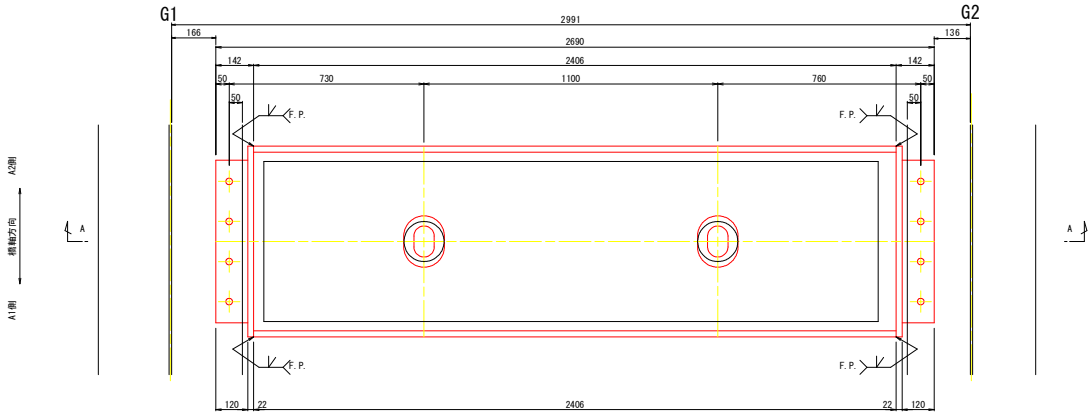
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置詳細図（その2）		
縮尺	図 示	図面番号	8 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

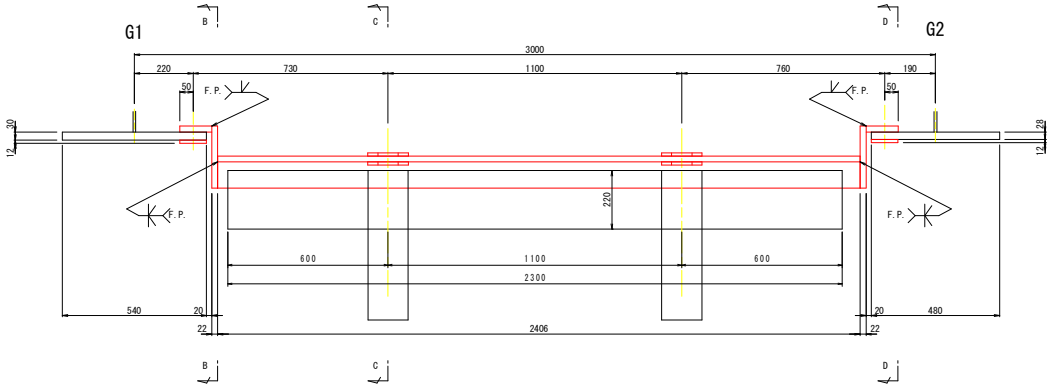
水平力分担装置詳細図（その3）　〔P1R（A２側）〕

S=1:10

平面図(G1-G2間)

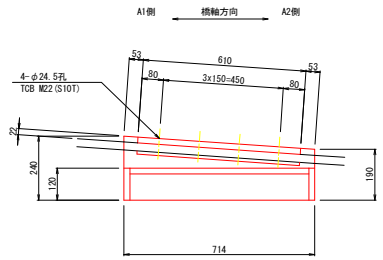


A － A

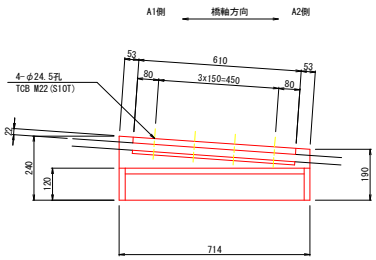


材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 120 x 22 x 2406 (SM490YB)
1 － PL 670 x 22 x 2406 (SM490YB)

B － B



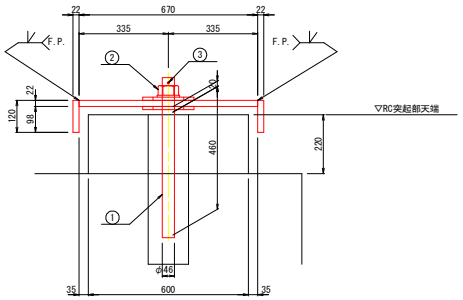
D － D



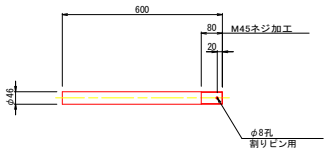
材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 120 x 22 x 610 (SM490YB)
2 － PL 240 x 22 x 714 (SM490YB)NET=0.896
8 － TCB M22 x 100 (S10T)

アンカーバー詳細図

C － C

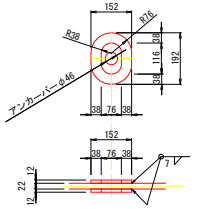


材料1箇所当り（製作数:4箇所）
2　1 － ナット(1種) M45(SS400)
　　1 － ワッシャー M45(SS400)
3　1 － 割ピン φ8 x 71L (SUS304)



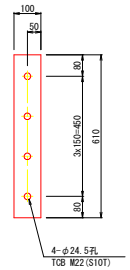
材料1箇所当り（製作数:4箇所）
1　1 － アンカーバー φ46、L=600(S45CN)

補強板詳細図



材料1箇所当り（製作数:4箇所）
2-PL 152x12x192 (SM490YA)NET=0.570

添接板詳細図



1箇所当り数量(製作数:2箇所)
2 － PL 100 x 12 x 610 (SM490YA)

【注記】
1. 既設構造物の現地計測を行ったうえで部材製作および現場施工を行うこと。
2. 横梁アンカーバー孔位置は、先行施工された縁端拡幅部およびＲＣ突起部のアンカーバー施工位置を確認したうえで決定すること。
3. 鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。（鋼材・その他：HDZ55，ボルト・ナット類：HDZ35）
4. 「FP」の表示のある箇所は完全溶込み溶接を用いる。
5. 本図はG1-G2桁間を示しており、G2-G3桁間についてはG2桁を中心に左右対称の構造に製作すること。
6. 横梁取付時に下横構を一時撤去する必要があるが、下横構は暴風時水平力の荷重分散部材であるため、悪天候時には撤去しないこと。

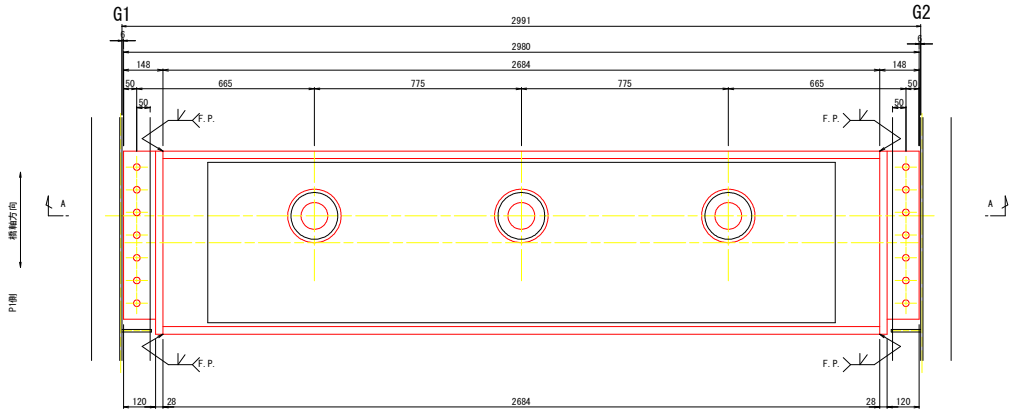
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大強橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大強橋他）		
図面名	水平力分担装置詳細図（その3）		
縮尺	図 示	図面番号	9 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

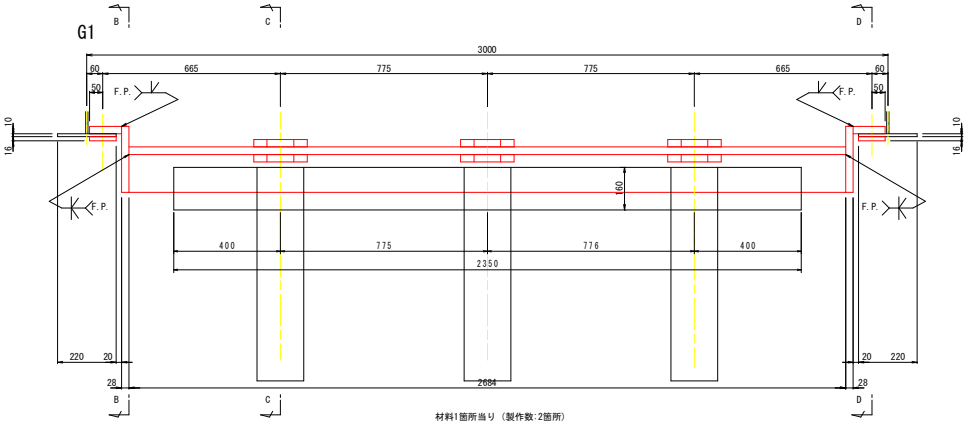
水平力分担装置詳細図（その4）　〔Ａ２〕

S=1:10

平面図(G1-G2間)

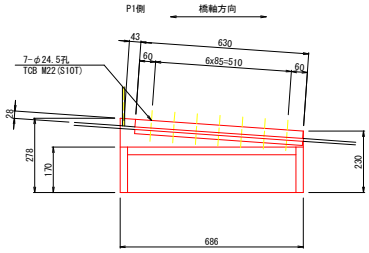


A － A

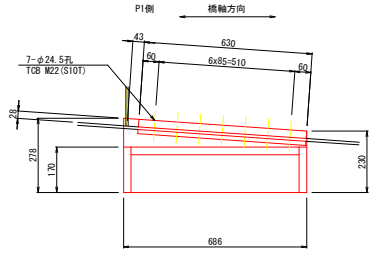


材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 170 x 28 x 2684 (SM490YB)
1 － PL 630 x 28 x 2684 (SM490YB)

B － B



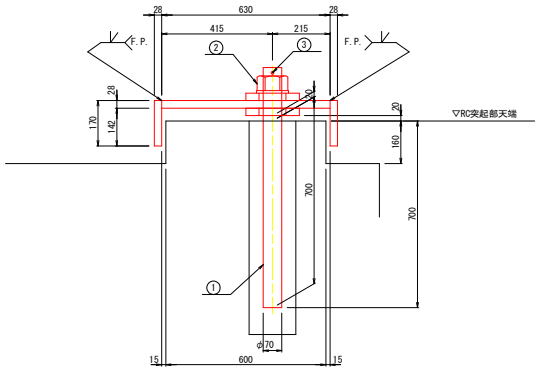
D － D



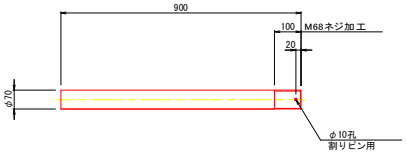
材料1箇所当り（製作数:2箇所）
2 － PL 120 x 28 x 630 (SM490YB)
2 － PL 278 x 28 x 686 (SM490YB)NET=0.914
14 － TCB M22 x 90 (S10T)

アンカーバー詳細図

C － C

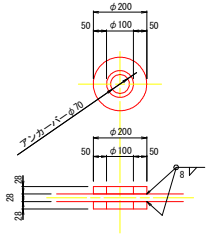


材料1箇所当り（製作数:6箇所）
2　1 － ナット(1種) M68(SS400)
　　1 － ワッシャー M68(SS400)
3　1 － 割ピン φ10 x 100L (SUS304)



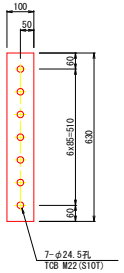
材料1箇所当り（製作数:6箇所）
1　1 － アンカーバー φ70、L=900(S45CN)

補強板詳細図



材料1箇所当り（製作数:6箇所）
2-PL 200x28x200 (SM490YB)NET=0.589

添接板詳細図



1箇所当り数量(製作数:2箇所)
2 － PL 100 x 16 x 630 (SM490YA)

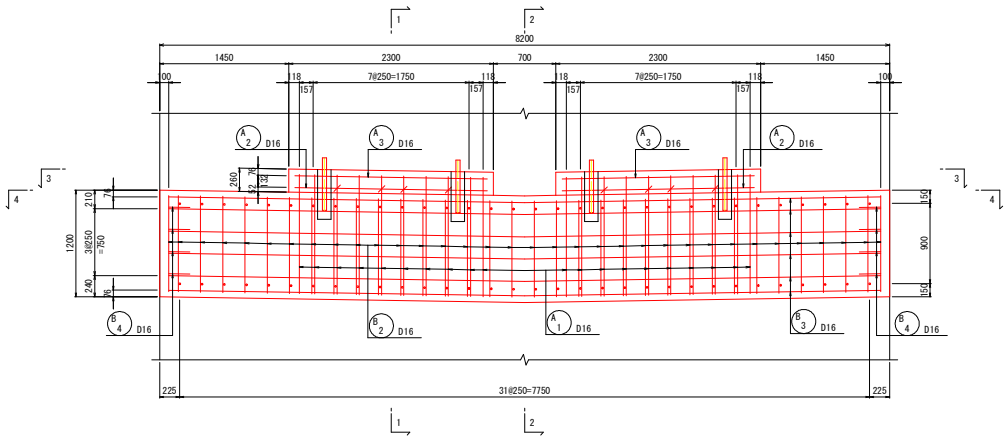
【注記】
1. 既設構造物の現地計測を行ったうえで部材製作および現場施工を行うこと。
2. 横梁アンカーバー孔位置は、先行施工された縁端拡幅部およびＲＣ突起部のアンカーバー施工位置を確認したうえで決定すること。
3. 鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。（鋼材・その他：HDZ55，ボルト・ナット類：HDZ35）
4. 「FP」の表示のある箇所は完全溶込み溶接を用いる。
5. 本図はG1-G2桁間を示しており、G2-G3桁間についてはG2桁を中心に左右対称の構造に製作すること。
6. 横梁取付時に下横構を一時撤去する必要があるが、下横構は暴風時水平力の荷重分散部材であるため、悪天候時には撤去しないこと。

当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置詳細図（その4）		
縮尺	図 示	図面番号	10 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

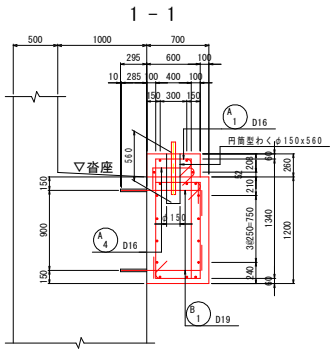
水平力分担装置配筋図（その1）　〔Ａ１〕

正 面 図　S=1:30

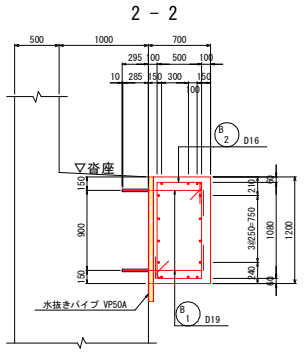


断 面 図　S=1:30

1 － 1

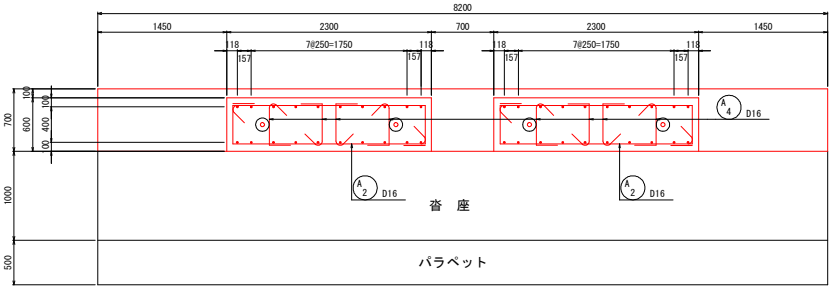


2 － 2

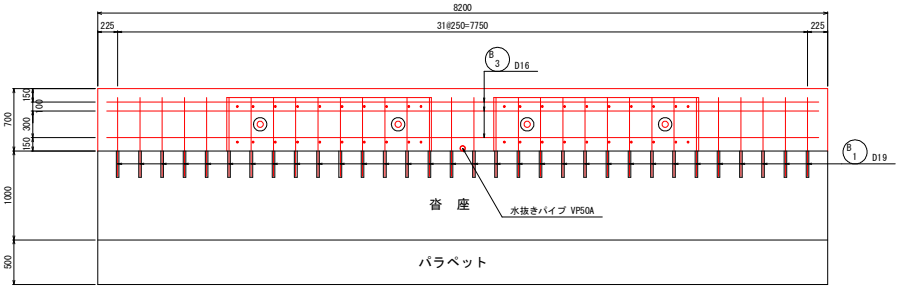


平 面 図　S=1:30

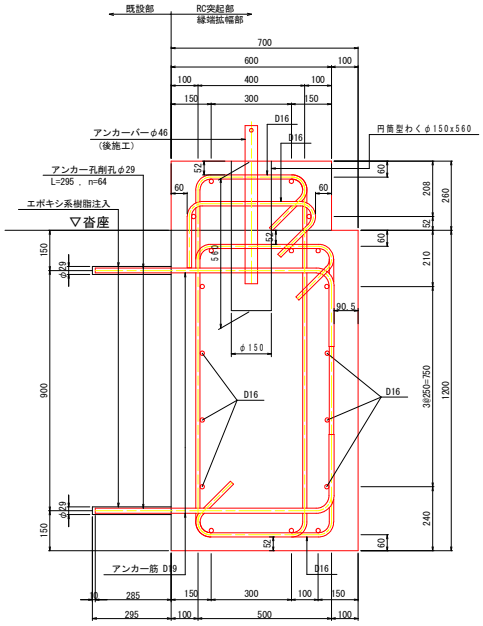
3 － 3



4 － 4



かぶり詳細図　S=1:10

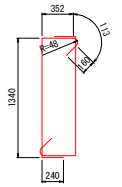


【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。

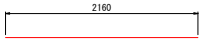
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その1）		
縮尺	図 示	図面番号	11 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

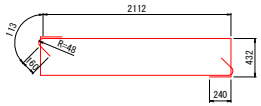
水平力分担装置配筋図（その2） 〔Ａ１〕



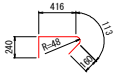
A1 40-D16 X 2210



A3 4-D16 X 2160



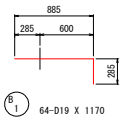
A2 4-D16 X 3060



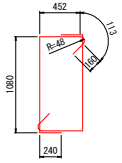
A4 8-D16 X 930

鉄筋質量表 (SD345)

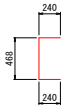
種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (Kg/m)	一本当り質量 (Kg/本)	質 量 (Kg)	摘 要
A_1	D16	2210	40	1.56	3.45	138	
A_2	D16	3060	4	1.56	4.77	19	
A_3	D16	2160	4	1.56	3.37	13	
A_4	D16	930	8	1.56	1.45	12	
						182 kg	
B_1	D19	1170	64	2.25	2.63	168	
B_2	D16	2050	68	1.56	3.20	218	
B_3	D16	8000	14	1.56	12.48	175	
B_4	D16	950	8	1.56	1.48	12	
						573 kg	
	合 計	D19		168 Kg			
		D16		587 Kg			
	総質量			755 Kg			
	円筒型わく φ150x560		4 箇所				
	削孔 φ29×295		64 箇所				



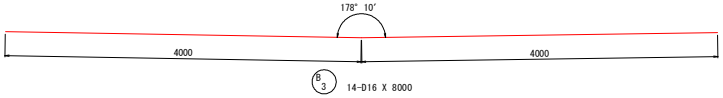
B1 64-D19 X 1170



B2 68-D16 X 2050



B4 8-D16 X 950



B3 14-D16 X 8000

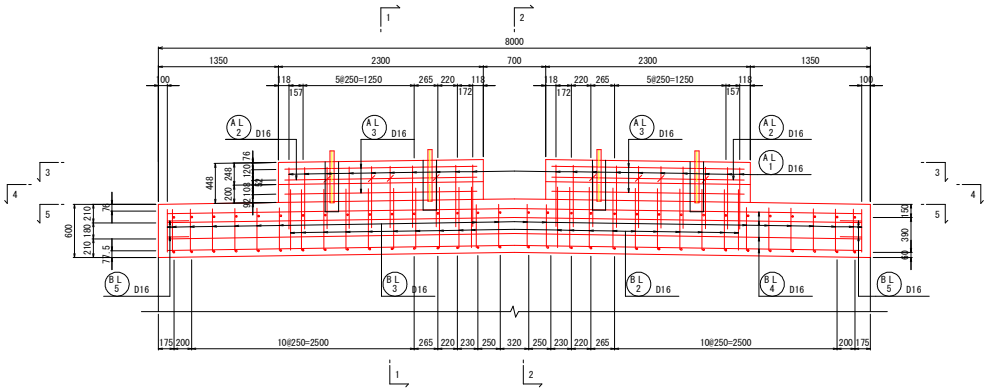
【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理(チッピング)を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー施工用の箱抜きを行うこと。

当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その2）		
縮尺	図 示	図面番号	12 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

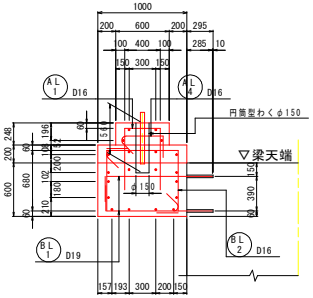
水平力分担装置配筋図（その3）　〔P1L（A1側）〕

正面図 S=1:30

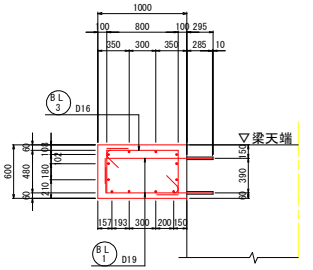


断面図 S=1:30

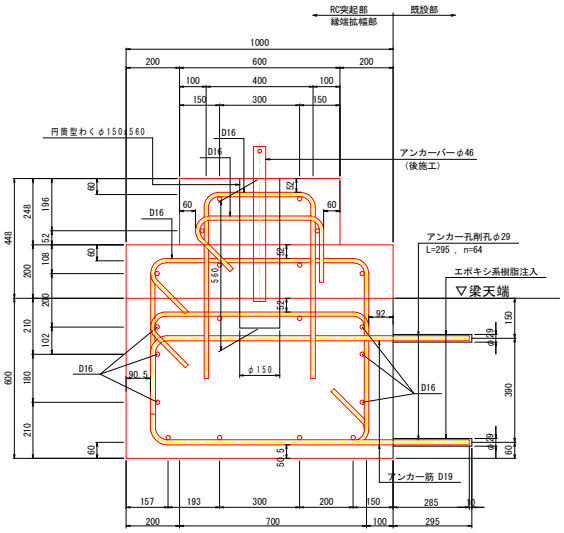
1 － 1



2 － 2

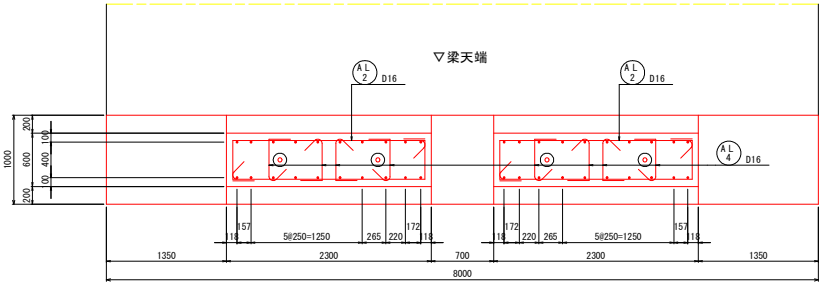


かぶり詳細図 S=1:10

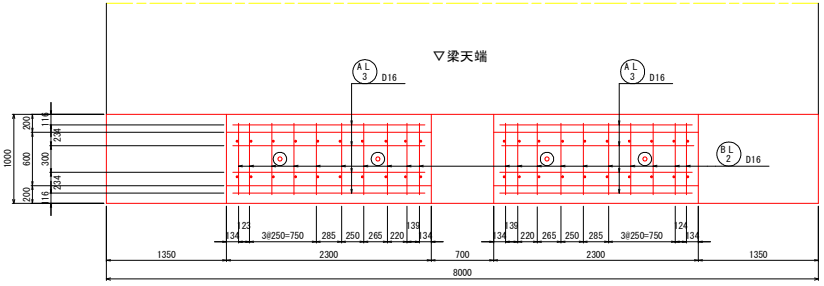


平面図 S=1:30

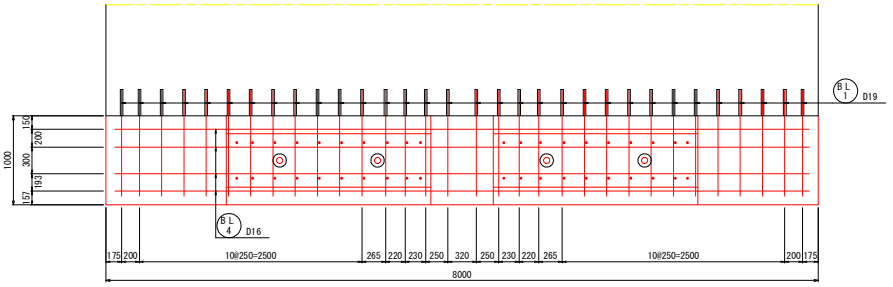
3 － 3



4 － 4



5 － 5



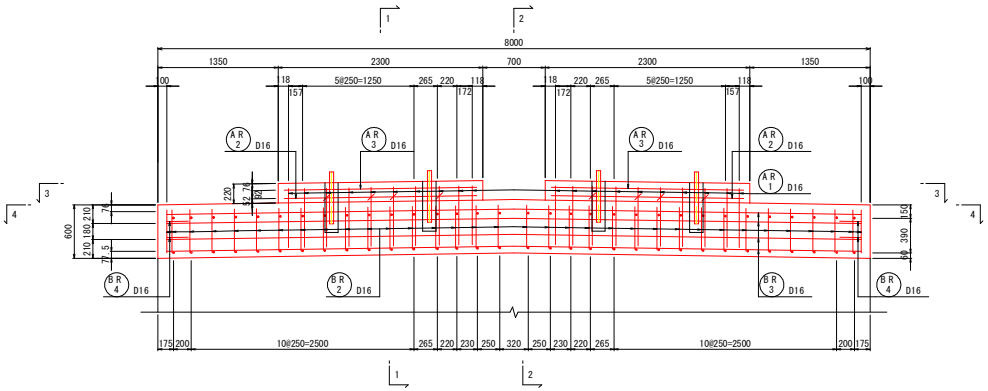
【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。

当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その3）		
縮尺	図示	図面番号	13 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

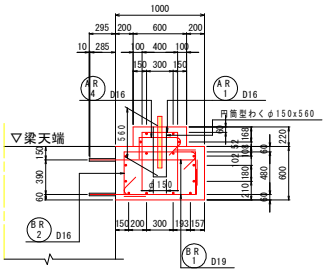
水平力分担装置配筋図（その4） 〔P1R（A２側）〕

正 面 図 S=1:30

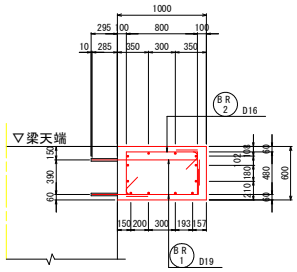


断 面 図 S=1:30

1 － 1

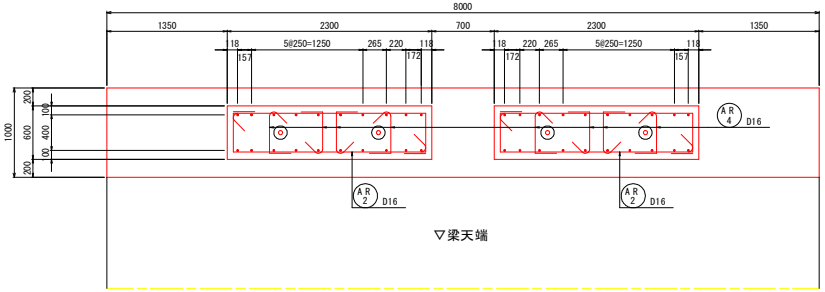


2 － 2

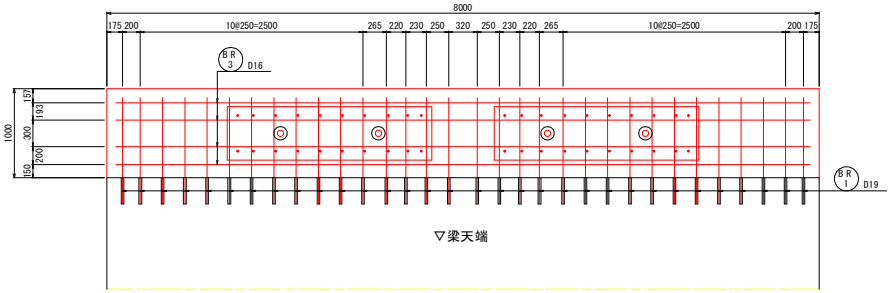


平 面 図 S=1:30

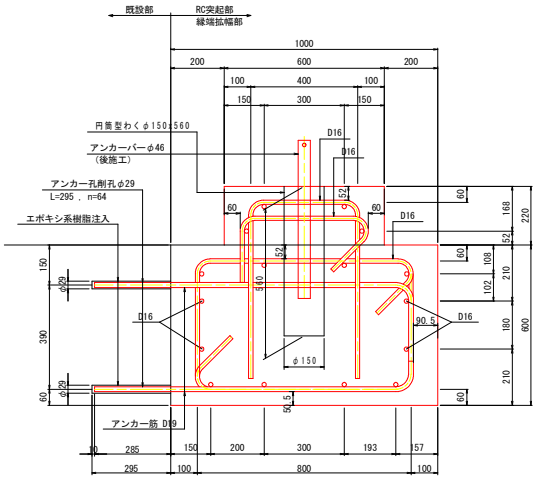
3 － 3



4 － 4



かぶり詳細図 S=1:10

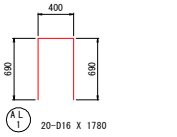


【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。

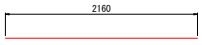
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その4）		
縮尺	図 示	図面番号	14 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

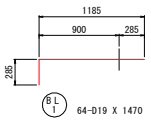
水平力分担装置配筋図（その5） 〔P1〕



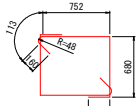
AL1 20-D16 X 1780



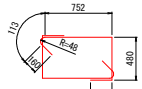
AL3 6-D16 X 2160



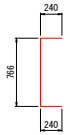
BL1 64-D19 X 1470



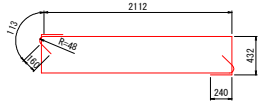
BL2 40-D16 X 1950



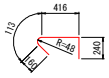
BL3 36-D16 X 1750



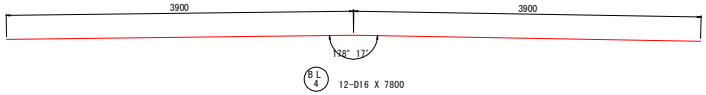
BL5 4-D16 X 1250



AL2 4-D16 X 3060



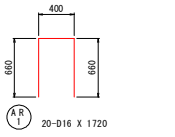
AL4 8-D16 X 930



BL4 12-D16 X 7800

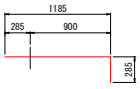
鉄筋質量表（SD345）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	一本当り質量 (Kg/本)	質量 (Kg)	摘要
PIL側							
A_{L1}	D16	1780	20	1.56	2.78	56	
A_{L2}	D16	3060	4	1.56	4.77	19	
A_{L3}	D16	2160	6	1.56	3.37	20	
A_{L4}	D16	930	8	1.56	1.45	12	
						107 kg	
B_{L1}	D19	1470	64	2.25	3.31	212	
B_{L2}	D16	1950	40	1.56	3.04	122	
B_{L3}	D16	1750	36	1.56	2.73	98	
B_{L4}	D16	7800	12	1.56	12.17	146	
B_{L5}	D16	1250	4	1.56	1.95	8	
						586 kg	
PIR側							
A_{R1}	D16	1720	20	1.56	2.68	54	
A_{R2}	D16	3060	4	1.56	4.77	19	
A_{R3}	D16	2160	2	1.56	3.37	7	
A_{R4}	D16	930	8	1.56	1.45	12	
						92 kg	
B_{R1}	D19	1470	64	2.25	3.31	212	
B_{R2}	D16	1750	34	1.56	2.73	93	
B_{R3}	D16	7800	12	1.56	12.17	146	
B_{R4}	D16	1250	4	1.56	1.95	8	
						459 kg	
合計	D19				424 Kg		
	D16				820 Kg		
総質量					1244 Kg		
円筒型わく φ150x560			8 箇所				
	PIL		PIR		合計		
削孔 φ29×295	64 箇所	＋	64 箇所	＝	128 箇所		

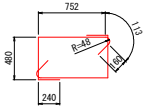


AR1 20-D16 X 1720

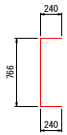
AR3 2-D16 X 2160



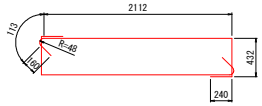
BR1 64-D19 X 1470



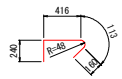
BR2 34-D16 X 1750



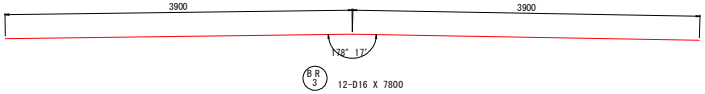
BR4 4-D16 X 1250



AR2 4-D16 X 3060



AR4 8-D16 X 930



BR3 12-D16 X 7800

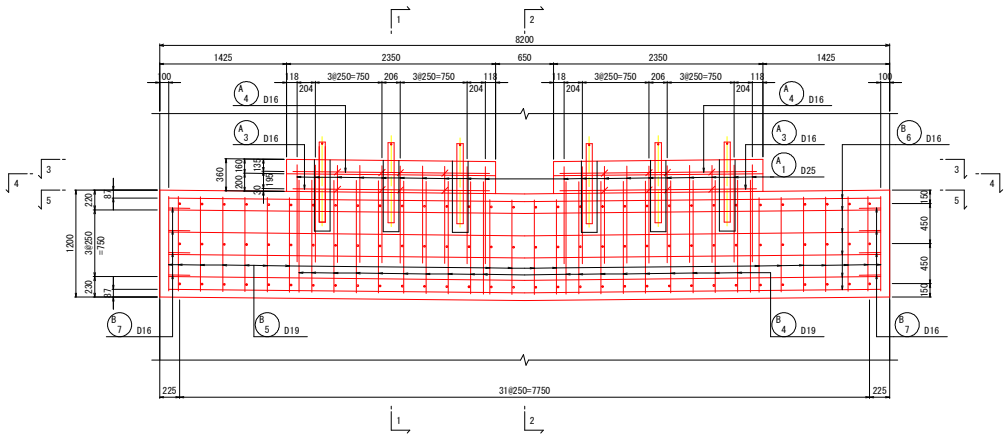
【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理(チッピング)を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。

当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その5）		
縮尺	図示	図面番号	15 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

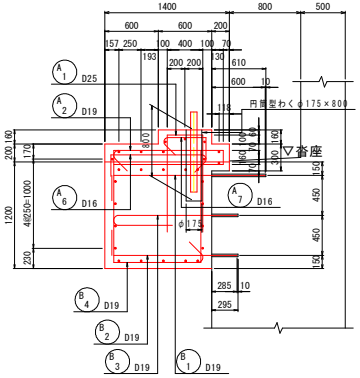
水平力分担装置配筋図（その6）　〔Ａ２〕

正面図

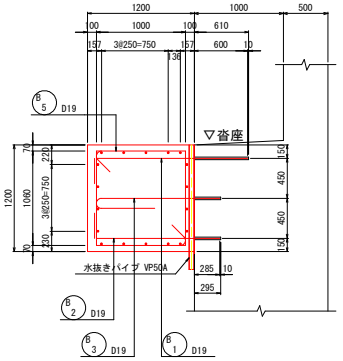


断面図

1 － 1

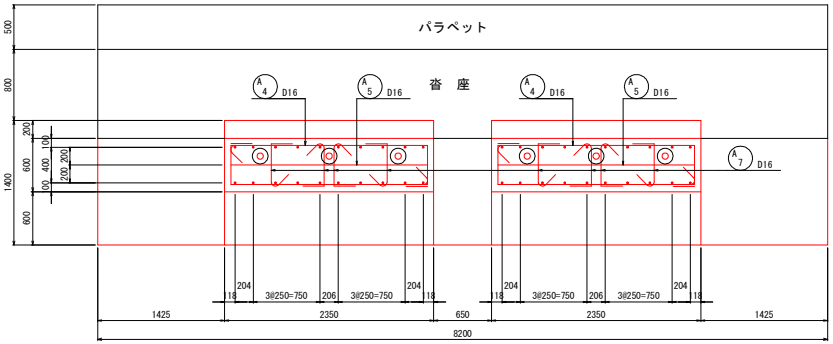


2 － 2

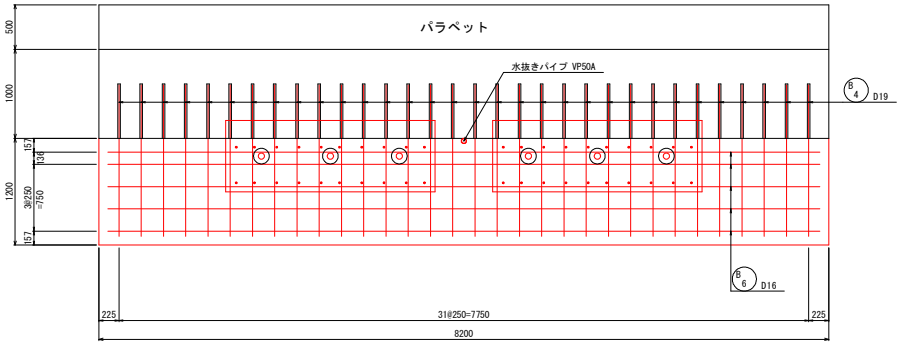


平面図

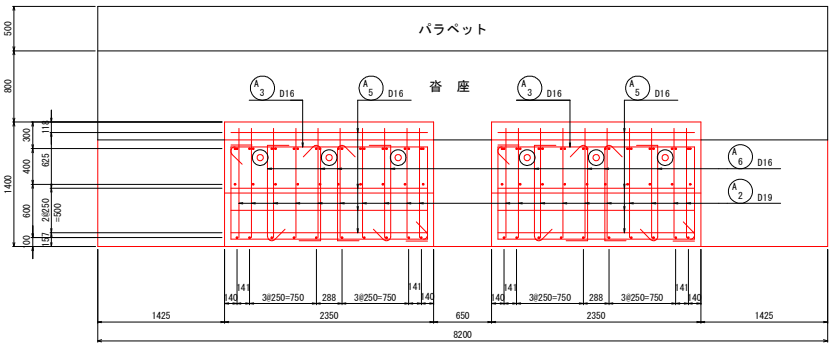
3 － 3



5 － 5



4 － 4



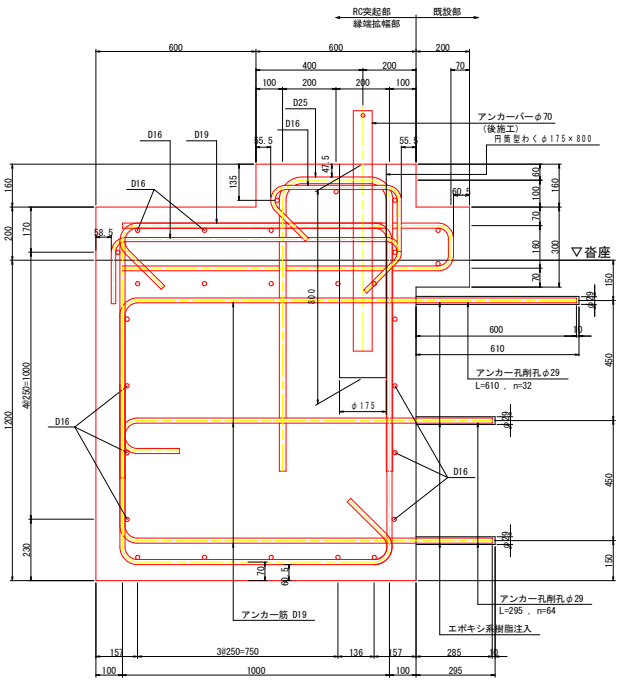
【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 繰端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。

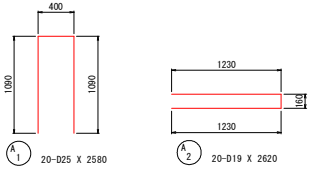
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その6）		
縮尺	図示	図面番号	16 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

水平力分担装置配筋図（その7）　〔Ａ２〕

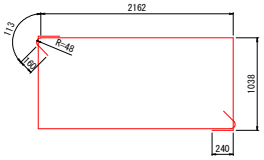
かぶり詳細図　S=1:10





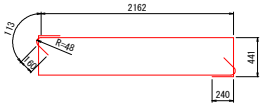
A1　20-D25 X 2580

A2　20-D19 X 2620

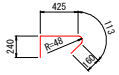


A3　4-D16 X 3720

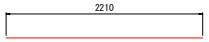
A6　8-D16 X 1540



A4　4-D16 X 3120



A7　8-D16 X 940

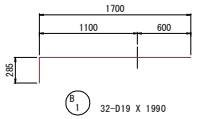


A5　12-D16 X 2210

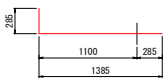
鉄筋質量表（SD345）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	一本当り質量 (Kg/本)	質量 (Kg)	摘要
A1	D25	2580	20	3.98	10.27	205	
A2	D19	2620	20	2.25	5.90	118	
A3	D16	3720	4	1.56	5.80	23	
A4	D16	3120	4	1.56	4.87	19	
A5	D16	2210	12	1.56	3.45	41	
A6	D16	1540	8	1.56	2.40	19	
A7	D16	940	8	1.56	1.47	12	
						437 kg	
B1	D19	1990	32	2.25	4.48	143	
B2	D19	1670	32	2.25	3.76	120	
B3	D19	1660	32	2.25	3.74	120	
B4	D19	2820	40	2.25	6.35	254	
B5	D19	2620	36	2.25	5.90	212	
B6	D16	8000	18	1.56	12.48	225	
B7	D16	1450	8	1.56	2.26	18	
						1092 kg	

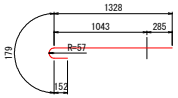
合　計	D25	205 Kg
	D19	967 Kg
	D16	357 Kg
総質量		1529 Kg
円筒型わくφ175x800		6 箇所
削孔　φ29×610		32 箇所
削孔　φ29×295		64 箇所



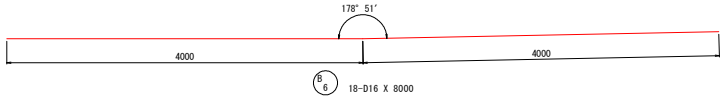
B1　32-D19 X 1990



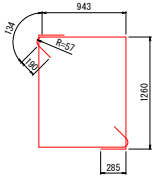
B2　32-D19 X 1670



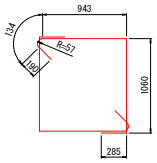
B3　32-D19 X 1660



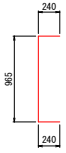
B6　18-D16 X 8000



B4　40-D19 X 2820



B5　36-D19 X 2620



B7　8-D16 X 1450

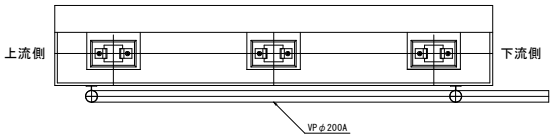
【注記】
1. 補強鉄筋の寸法形状は現地計測したうえで加工すること。
2. アンカー施工前に鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
   また、アンカー削孔内部のコンクリートかすは確実に除去すること。
3. 既設コンクリートの表面処理（チッピング）を十分に行うこと。
   また、チッピング面は湿潤させた状態でコンクリートを打ち継ぐなど、初期ひび割れ対策を十分に行うこと。
4. 縁端拡幅部およびＲＣ突起部を施工する際は、アンカーバー設置用の箱抜きを行うこと。

当初設計図面

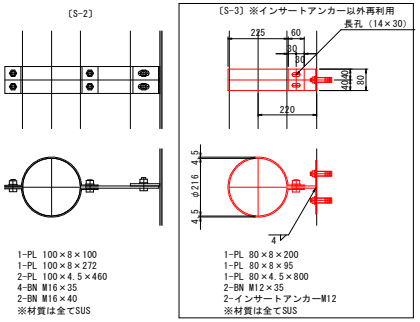
工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置配筋図（その7）		
縮尺	図示	図面番号	17 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

排水管復旧計画図（A2橋台）

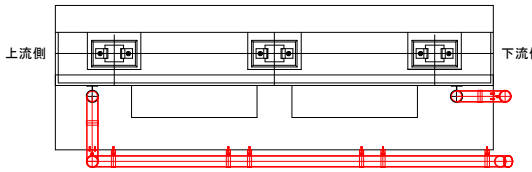
〔現況状態〕



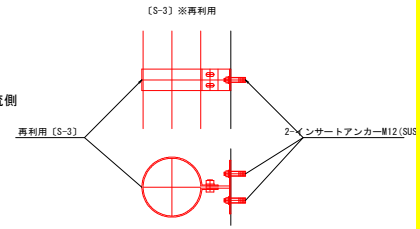
取付金具 S=1:10

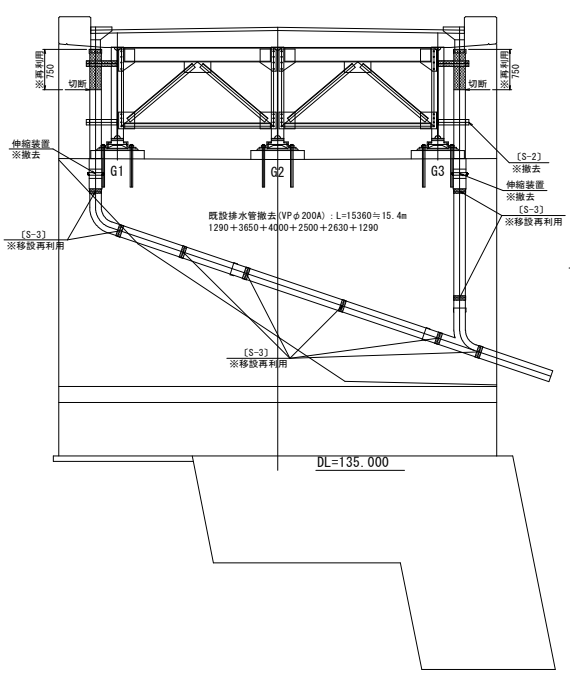


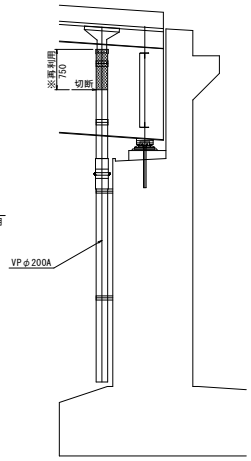
〔復旧計画〕

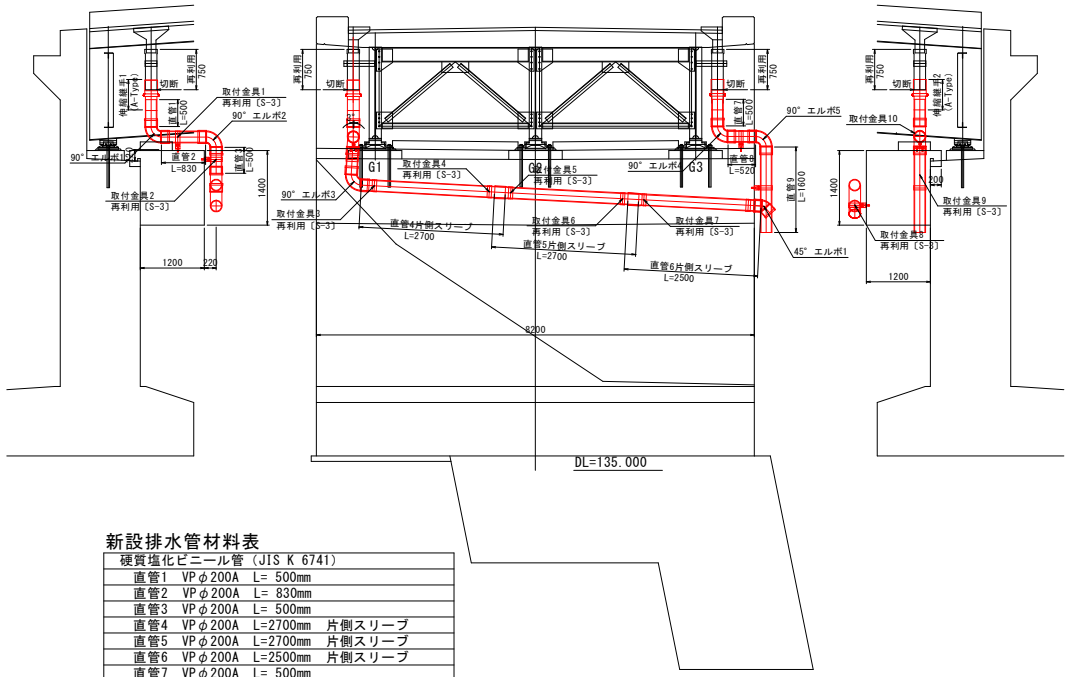


取付金具 S=1:10









既設排水管撤去一覧表

排水管（VPφ200）：15.4m
伸縮継手（VPφ200用）：2個
取付金具（S-2）：2個

新設排水管材料表

硬質塩化ビニール管（JIS K 6741）
直管1　VPφ200A　L= 500mm
直管2　VPφ200A　L= 830mm
直管3　VPφ200A　L= 500mm
直管4　VPφ200A　L=2700mm　片側スリーブ
直管5　VPφ200A　L=2700mm　片側スリーブ
直管6　VPφ200A　L=2500mm　片側スリーブ
直管7　VPφ200A　L= 500mm
直管8　VPφ200A　L= 520mm
直管9　VPφ200A　L=1600mm
排水用硬質塩化ビニール管継手（JIS K 6739）
90°エルボ：5個
45°エルボ：1個
排水管伸縮継手
伸縮継手（A-Type）：2個
取付金具
インサートアンカーM12×35(SUS)：2×9箇所=18個

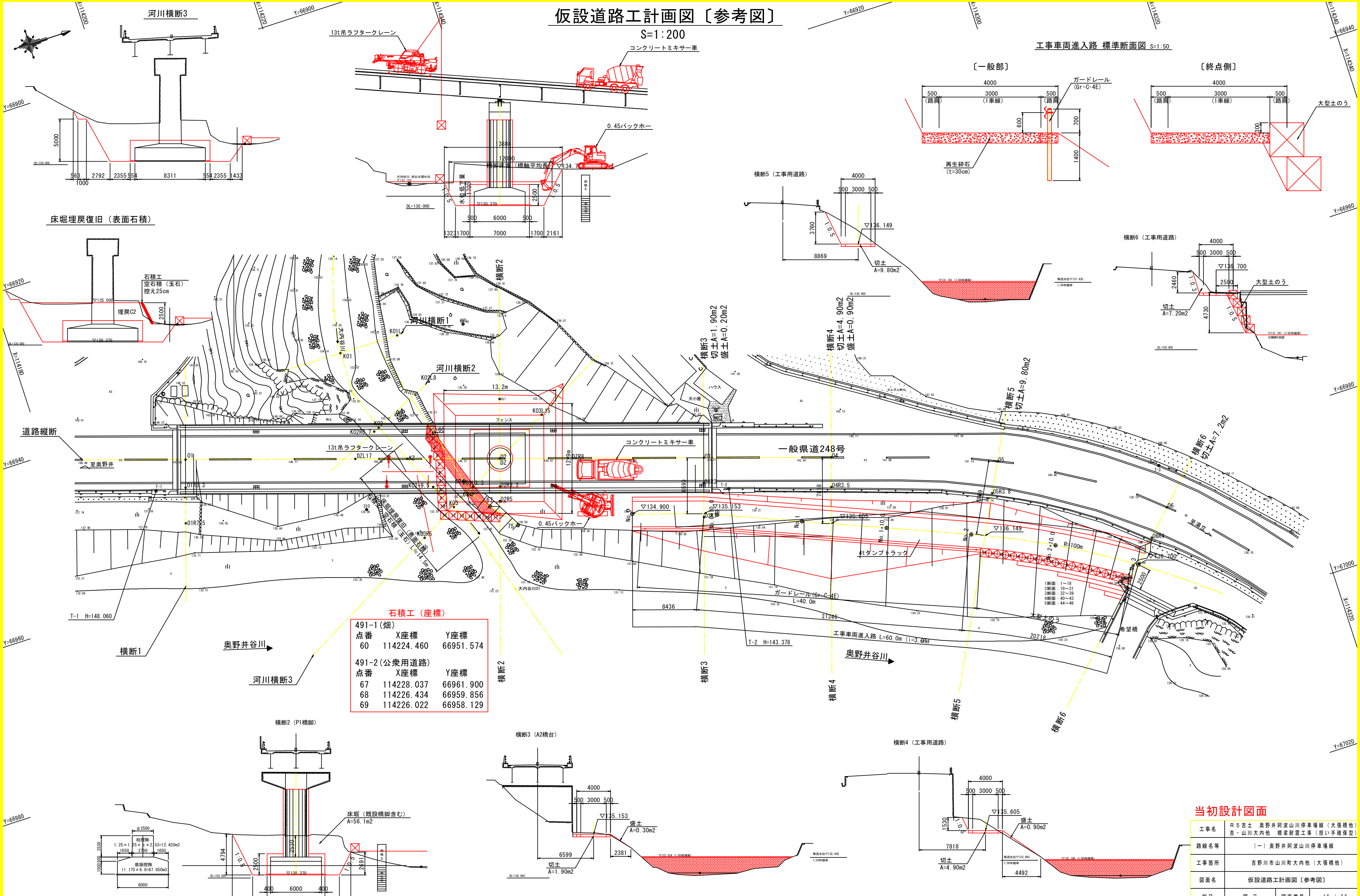
注記
1. 新設排水管材料は、水平力分担装置設置後に現地計測したうえで形状寸法を決定すること。
2. アンカー施工に際しては、事前に鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないよう注意すること。
3. 既設排水管取り外し時には、仮設排水ホースを設置すること。

当初設計図面

工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	排水管復旧計画図（A2橋台）		
縮尺	図 示	図面番号	18 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

仮設道路工計画図〔参考図〕

S=1:200



石積工（座標）

491-1（畑）

点番	X座標	Y座標
60	114224.460	66951.574

491-2（公衆用道路）

点番	X座標	Y座標
67	114228.037	66961.900
68	114226.434	66959.856
69	114226.022	66958.129

基準点座標値

点　名	X座標	Y座標
T-1	114191.220	66948.019
T-2	114255.416	66968.602
T-3	114304.401	66981.639

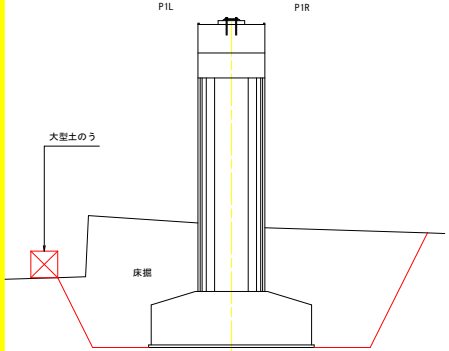
当初設計図面

工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他）吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）
図面名	仮設道路工計画図〔参考図〕
縮尺	図　示 | 図面番号 | 19 / 30
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）

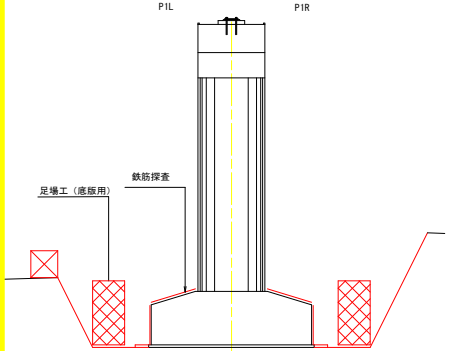
Ｐ１橋脚耐震補強工 施工要領図〔参考図〕

S=1:100

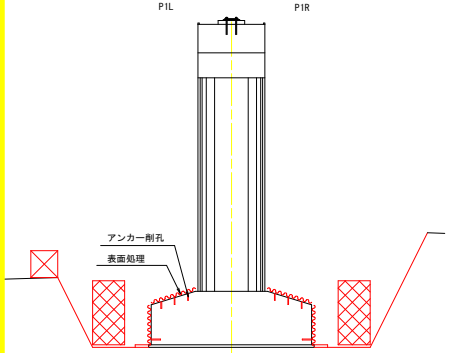
① 工事用進入路・床掘・大型土のう



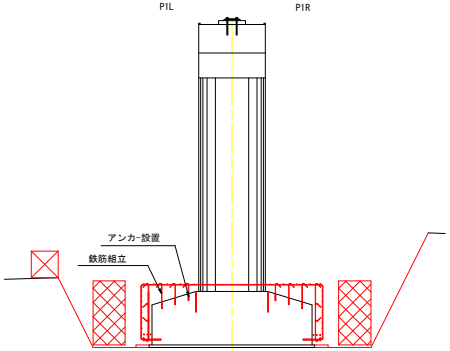
② 均しコンクリート・鉄筋探査
足場工（底版用）



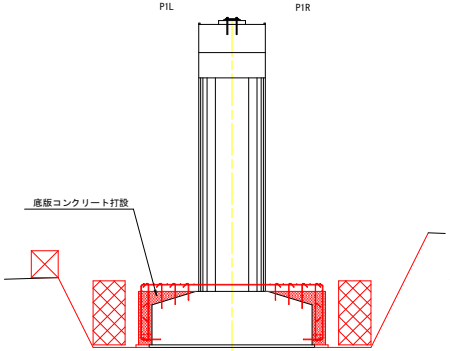
③ 底版アンカー削孔・底版表面処理



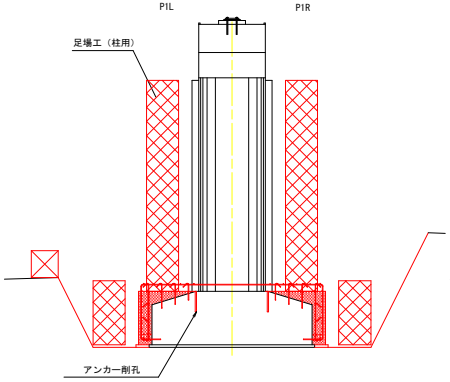
④ 底版アンカー設置・底版鉄筋組立



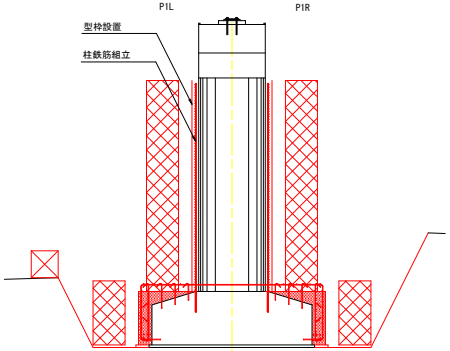
⑤ 底版コンクリート打設（柱基部まで）



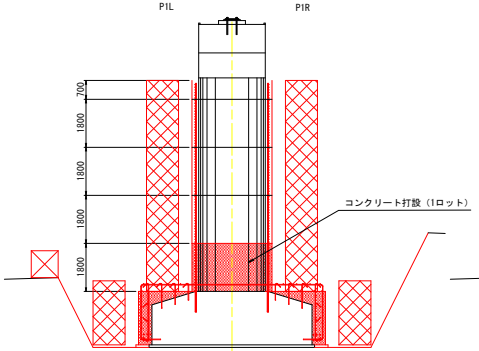
⑥ 底版アンカー削孔（柱主筋用）
足場工（柱用）



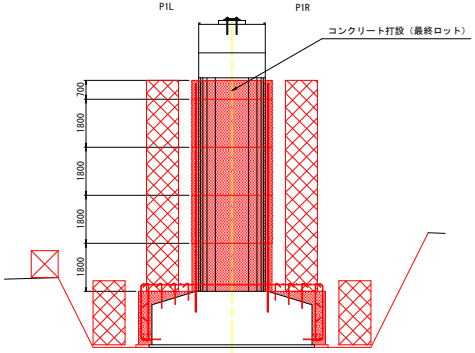
⑦ 柱鉄筋組立・型枠設置



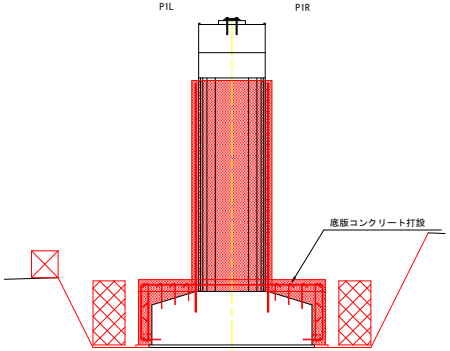
⑧ 柱コンクリート打設（1ロット）



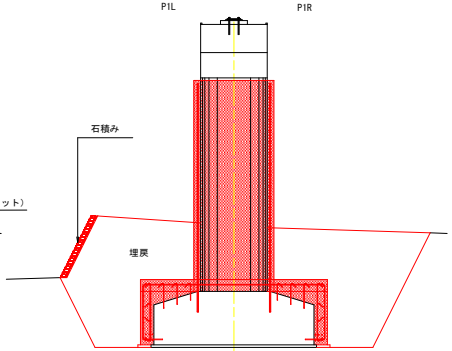
⑨ 柱コンクリート打設（最終ロット）



⑩ 足場工（柱用）撤去
底版コンクリート打設



⑪ 足場工（底版用）撤去
埋戻（石積み）



Ｐ１橋脚耐震補強工 施工工程

開　始

① 工事用進入路・床掘・大型土のう

② 均しコンクリート・足場工・鉄筋探査

③ 底版アンカー削孔・底版表面処理

④ 底版アンカー設置・底版鉄筋組立

⑤ 底版コンクリート打設（柱基部まで）

⑥ 底版アンカー削孔（柱主筋用）
足場工（柱用）

⑦ 柱鉄筋組立・型枠設置

⑧ 柱コンクリート打設（1ロット）

⑨ 柱コンクリート打設（1ロット）

⑩ 足場工（柱用）撤去
底版コンクリート打設

⑪ 足場工（底版用）撤去
埋戻（石積み）

完　了

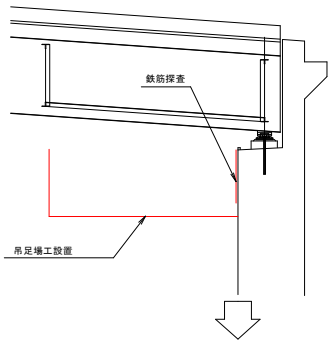
当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	Ｐ１橋脚耐震補強工 施工要領図〔参考図〕		
縮尺	図 示	図面番号	20 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

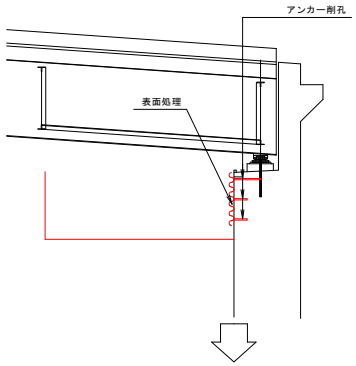
水平力分担装置工 施工要領図〔参考図〕

S=1:60　　（A2橋台）

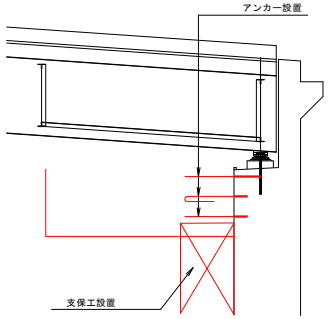
① 吊足場工・鉄筋探査



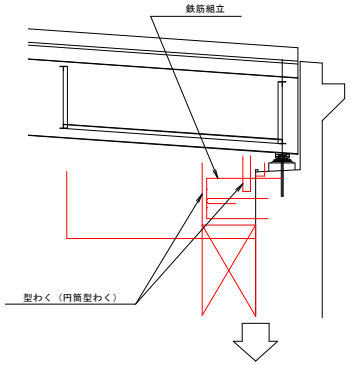
② アンカー削孔・表面処理



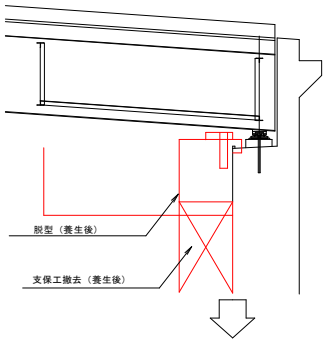
③ アンカー設置・支保工



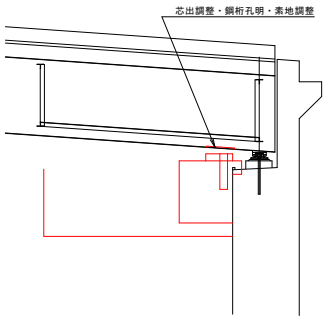
④ 鉄筋組立・型枠



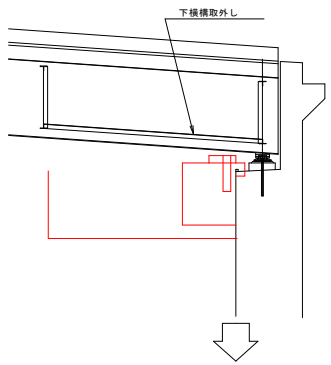
⑤ コンクリート打設
支保工撤去（養生後）



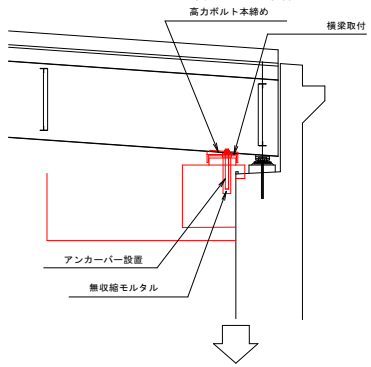
⑥ 芯出調整・鋼桁孔明・素地調整



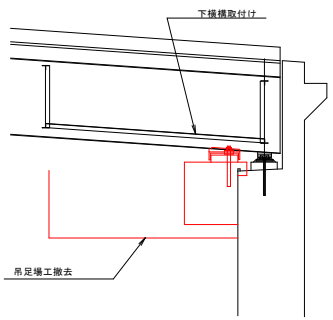
⑦ 下横構取外し



⑧ アンカーバー設置（無収縮モルタル）
横梁取付
高力ボルト本締め



⑨ 下横構取付け
吊足場撤去



水平力分担装置工 施工工程

開　始

① 吊足場工・鉄筋探査

② アンカー削孔・表面処理

③ アンカー設置・支保工

④ 鉄筋組立・型枠

⑤ コンクリート打設
支保工撤去（養生後）

⑥ 芯出調整・鋼桁孔明・素地調整

⑦ 下横構取外し

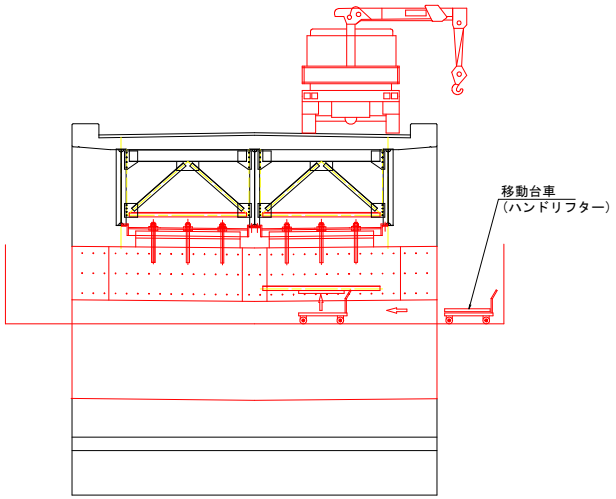
⑧ アンカーバー設置（無収縮モルタル）
横梁取付
高力ボルト本締め

⑨ 下横構取付け
吊足場撤去

完　了

鋼製部材設置要領〔参考図〕

（下横構:400kg/箇所・横梁:700kg/箇所）



当初設計図面

工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	水平力分担装置工 施工要領図〔参考図〕		
縮尺	図 示	図面番号	21 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

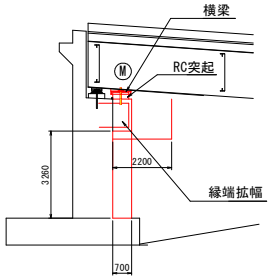
足場工・支保工計画図〔参考図〕

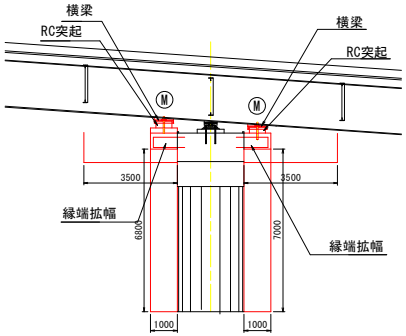
S=1:100

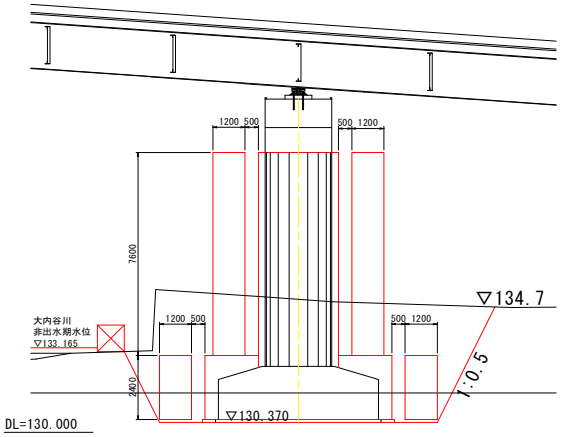
枠組足場（橋脚柱補強用）
枠組足場（橋脚底版補強用）
支保工（縁端拡幅部施工用）
吊足場工（水平力分担装置施工用）

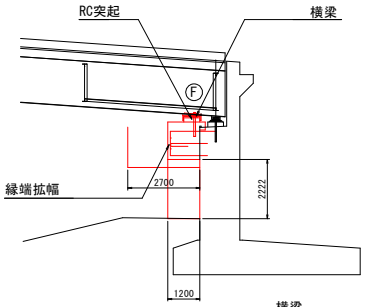
A1橋台　　P1橋脚　　A2橋台

側面図

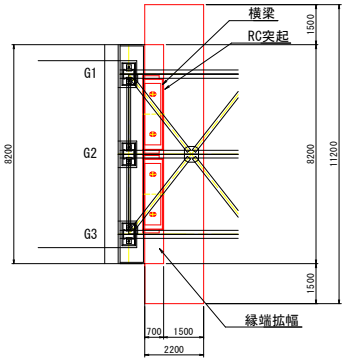


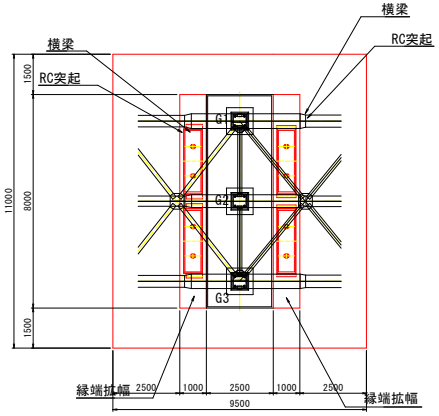


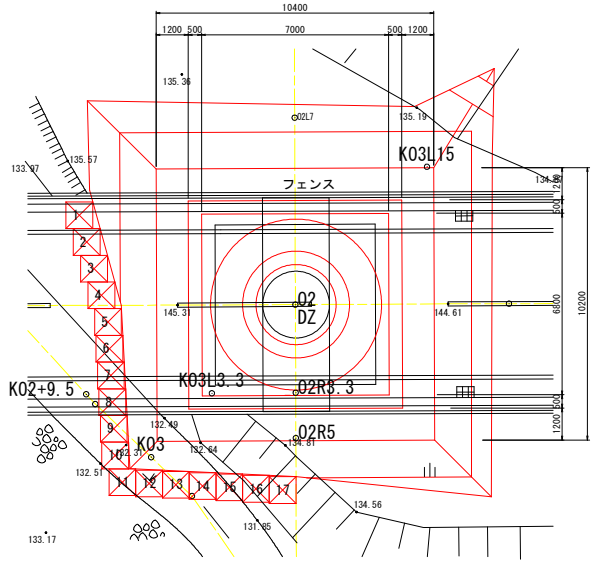


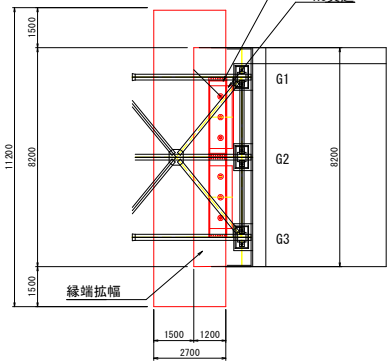


平面図

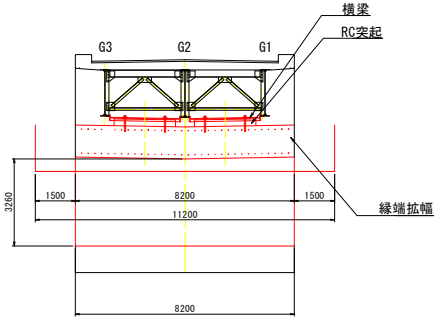


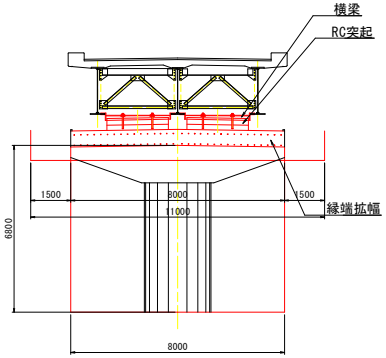


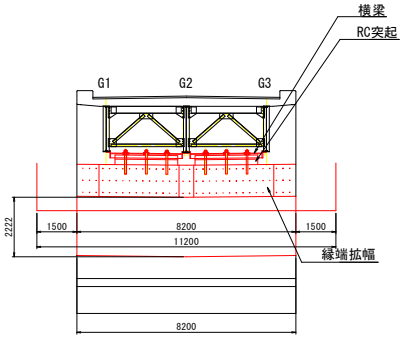




正面図







当初設計図面

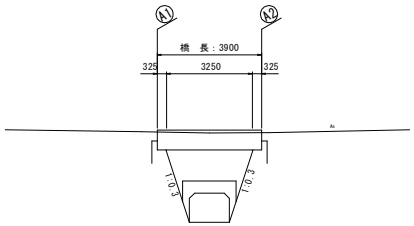
工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）
図面名	足場工・支保工計画図〔参考図〕
縮尺	図示　　図面番号　22 / 30
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）

既設橋梁復元図
〔新1〕

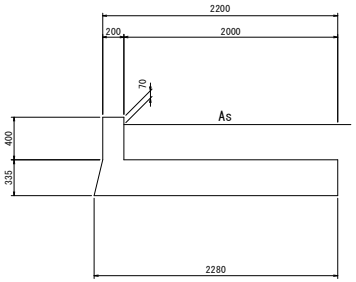
既設橋梁諸元

橋梁名		新1	
所在地		吉野川市山川町奥野井地先	
架橋年度		不明	
路線名		一般県道248号 奥野井阿波山川停車場線	
交差物件		普通河川 下奥野井谷川（吉野川市管理）	
橋梁幅員		地覆0.2m＋車線2.0m＝全幅2.2m	
設計荷重		不明	
橋梁等級		不明	
橋長		3.900m	
形式	上部工	RC床版橋	
	下部工（想定）	A1：重力式橋台 A2：重力式橋台	
	基礎（想定）	A1：直接基礎 A2：直接基礎	
使用材料	上部工	鋼材	不明
		床版鉄筋	不明
	下部工	コンクリート	不明
		鉄筋	不明
適用基準書（架橋年より）		不明	

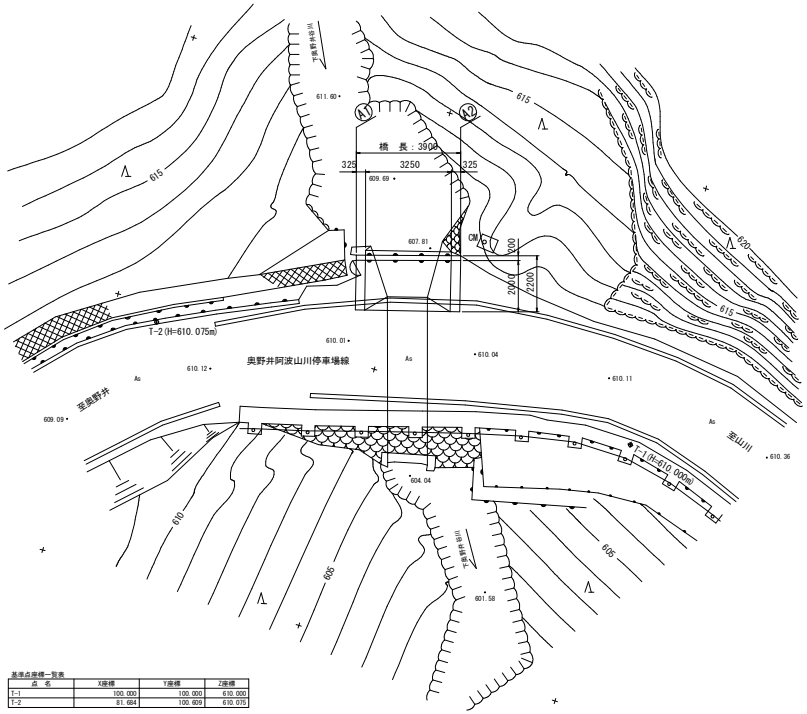
側面図
S＝1：100



上部工断面図
S＝1：25



平面図
S＝1：100



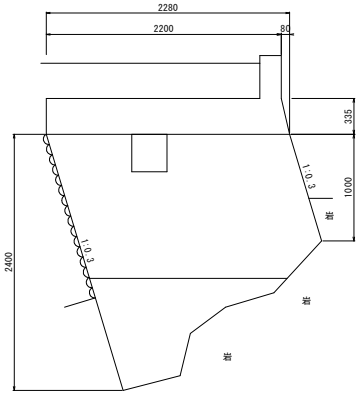
基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	100.000	100.000	610.000
T-2	81.684	100.609	610.075

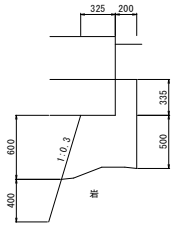
下部工断面図
S＝1：25

A1橋台

正面図

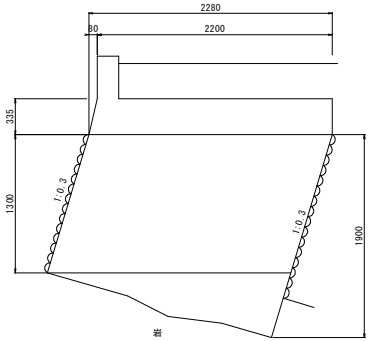


側面図



A2橋台

正面図



当初設計図面

工事名	R5吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	既設橋梁復元図		
縮尺	図示	図面番号	23 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

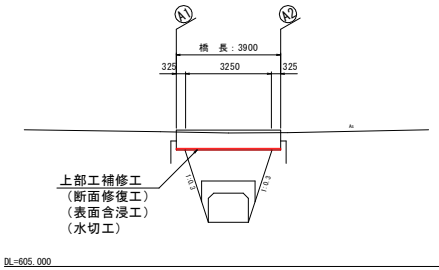
補修計画一般図

〔新1〕

補修工種一覧			
補修工種		補修材料	補修箇所
1上部工補修工	断面修復工 表面含浸工 水切工	ポリマーセメントモルタル シラン系含浸材 ゴム製後付水切材	床版下面

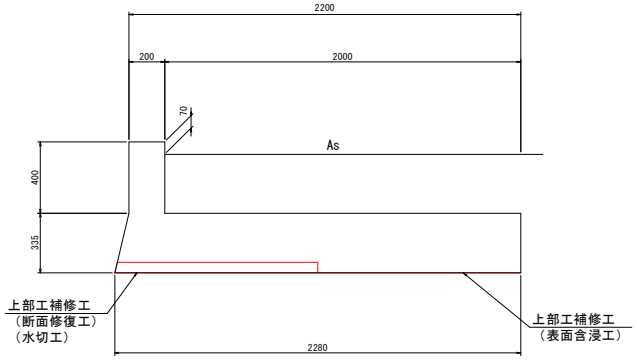
側面図

S＝1：100



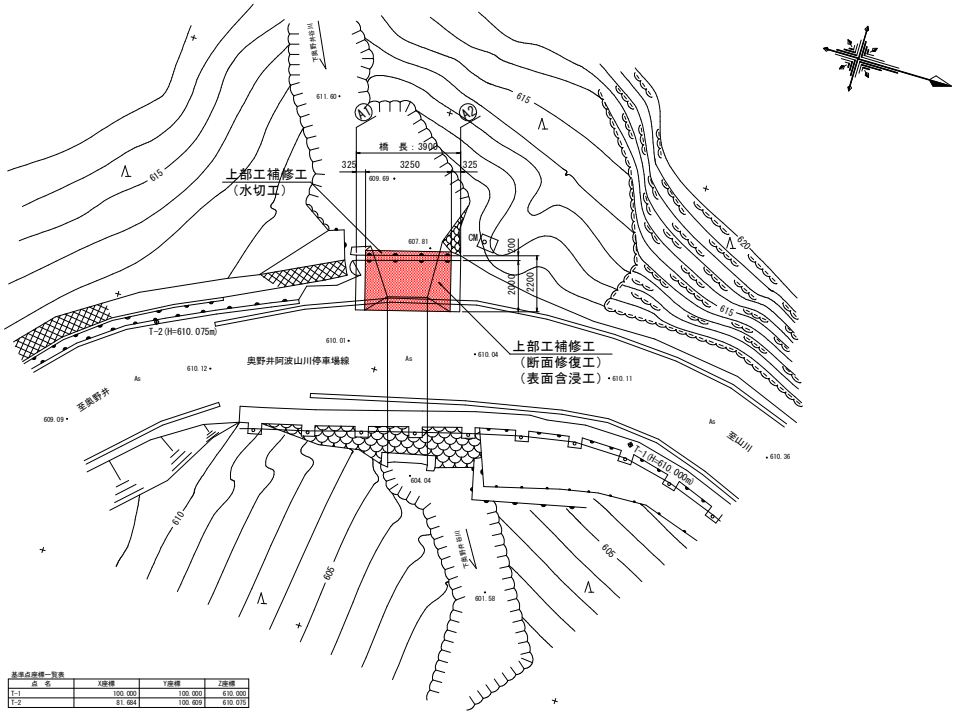
上部工断面図

S＝1：15



平面図

S＝1：100



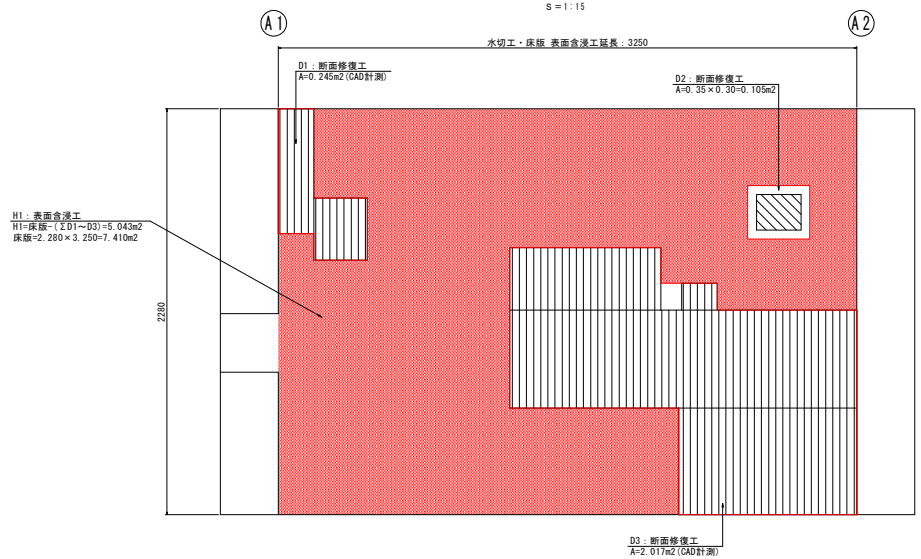
基準点座標一覧表			
点　名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	100.000	100.000	610.000
T-2	81.684	100.609	610.075

当初設計図面

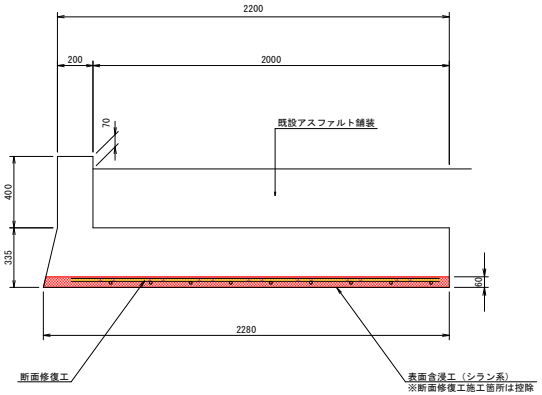
工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	補修計画一般図		
縮尺	図　示	図面番号	24 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

上部工補修計画図
〔新1〕

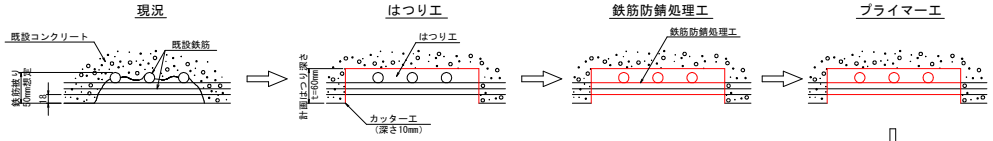
床版下面図（上方鳥瞰図）
S＝1：15



上部工断面図
S＝1：15

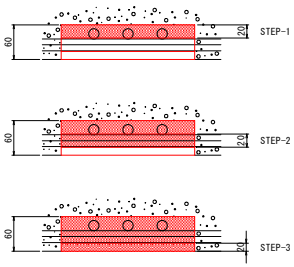


断面修復工 要領図



【施工手順（断面修復工）】
1. カッターエ
深さ10mm程度の切込みを入れる。
2. はつりエ
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマ等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を拡げる。
3. 鉄筋ケレン錆除去工（ケレン）
ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋表面の錆を落とす。
4. 鉄筋防錆処理工
錆落としを行った鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
5. 断面修復工（左官工法）
ポリマーセメントモルタルを コテ塗りし、当初形状に戻す。
※使用材料は監督員に確認の上決定する。
※1層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性を考慮して設定する。（標準施工厚さ：20～30mm）
※鉄筋の背面に空隙を残さないよう注意する。
※修復後の鉄筋被りが少ない組立鉄筋等は、内側に折曲げて極力被りを確保する。

断面修復工〔左官工法〕

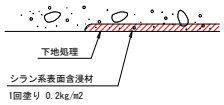


補修数量表－１（断面修復工）

床版下面		
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m2)
D 1	CAD計測	0.245
D 2	0.35×0.30	0.105
D 3	CAD計測	2.017
断面修復工面積		ΣA=2.367m2
断面修復工体積	W=2.367m2×0.06m=0.142m3	

※断面修復の補修厚さは、t=60mmとする。

表面含浸工 詳細図
シラン系表面含浸工

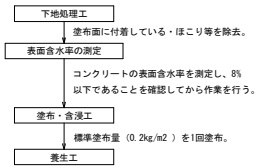


工程	使用材料	標準塗布量	塗装方法
下地処理	－	－	サンダーケレン等
1回塗り	シラン系 表面含浸材 （1液性反応性）	0.2kg/m2	刷毛 ローラー刷毛

補修数量表－２（表面含浸工）

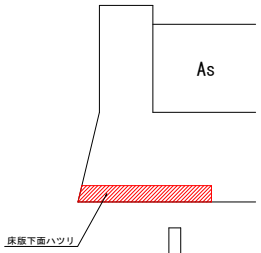
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m2)
H 1	床版-(ΣD1～D3)	5.043
表面含浸工面積 合計		ΣA=5.043m2

施工フロー



塗布完了後48時間は、塗布面が直接雨等にさらされないように養生。

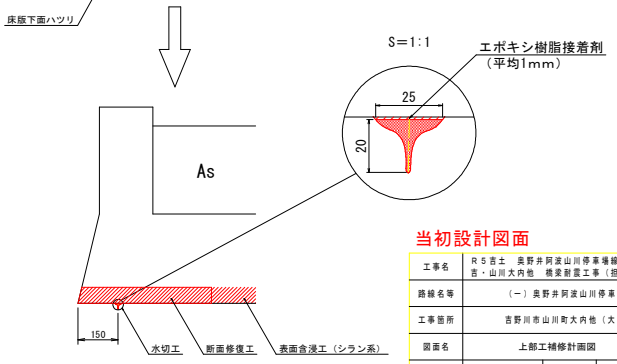
水切工 詳細図
S＝1：10



補修数量表－３（水切工）

補修材料	補修箇所	補修数量
水切工	上流側	L=3.250m
接着剤	上流側	W=0.11kg

※接着剤数量
1200kg/m3×0.001m×0.025m×1.15×L＝0.0345L



当初設計図面

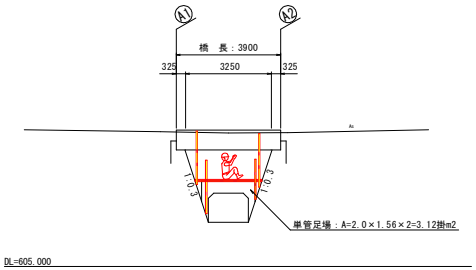
工事名	R５吉土 奥野井阿波山川停車場線（大張橋他）吉・山川大内他 橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	上部工補修計画図		
縮尺	図 示	図面番号	25 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

足場計画図〔参考図〕

〔新1〕

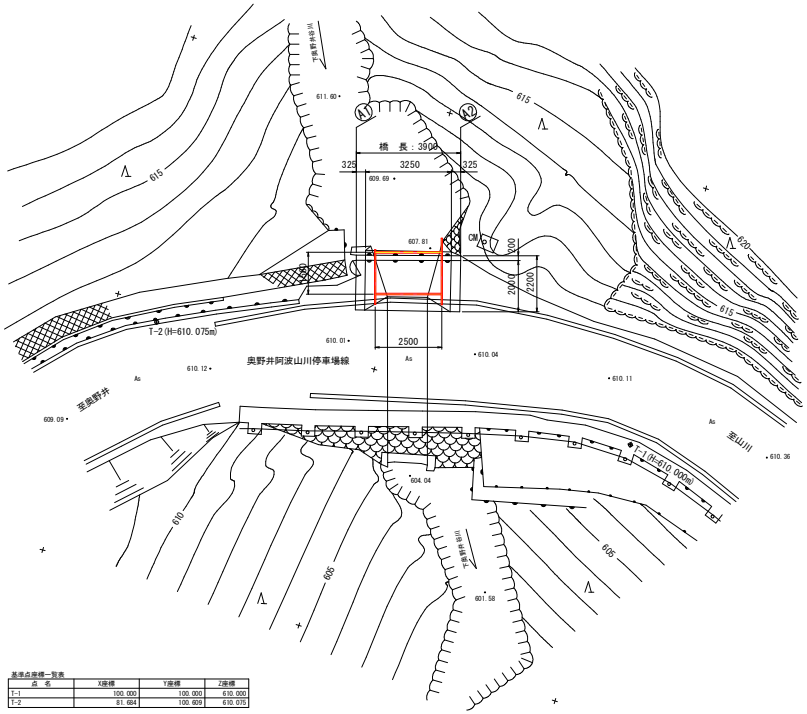
側面図

S＝1：100



平面図

S＝1：100



基準点座標一覧表

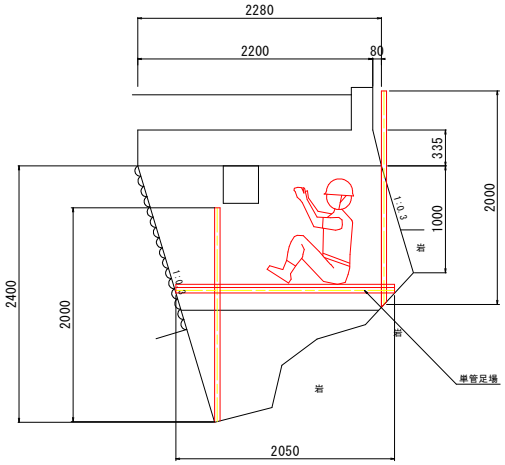
点　名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	100.000	100.000	610.000
T-2	81.684	100.609	610.075

下部工断面図

S＝1：25

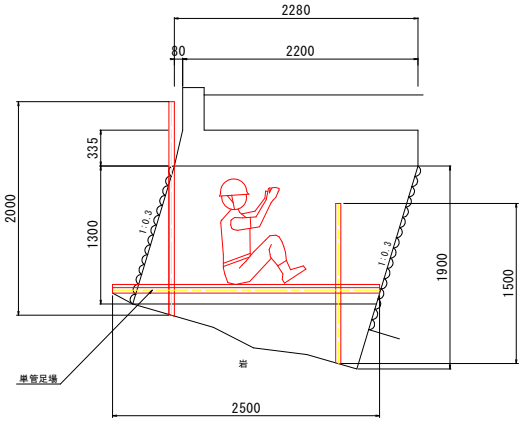
A1橋台

正面図



A2橋台

正面図



当初設計図面

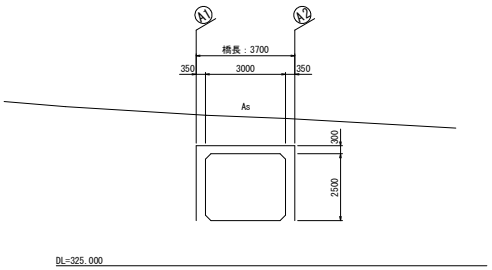
工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	足場計画図〔参考図〕		
縮尺	図　示	図面番号	26 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

既設橋梁復元図
〔新5〕

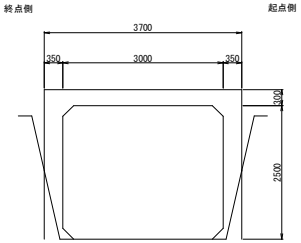
既設橋梁諸元

橋梁名		新５	
所在地		吉野川市山川町奥野井地先	
架橋年度		不明	
路線名		一般県道248号 奥野井阿波山川停車場線	
交差物件		普通河川 西榎谷川（吉野川市管理）	
橋梁幅員		地覆0.5m＋車線5.0m＋地覆0.4m＝全幅5.9m	
設計荷重		不明	
橋梁等級		不明	
橋長		3.700m	
形式	上部工	ＲＣボックスカルバート	
	下部工		
	基礎（想定）	直接基礎	
使用材料	上部工	鋼材	不明
		床版鉄筋	不明
	下部工	コンクリート	不明
		鉄筋	不明
適用基準書（架橋年より）		不明	

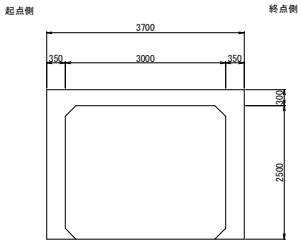
側面図
S＝1：100



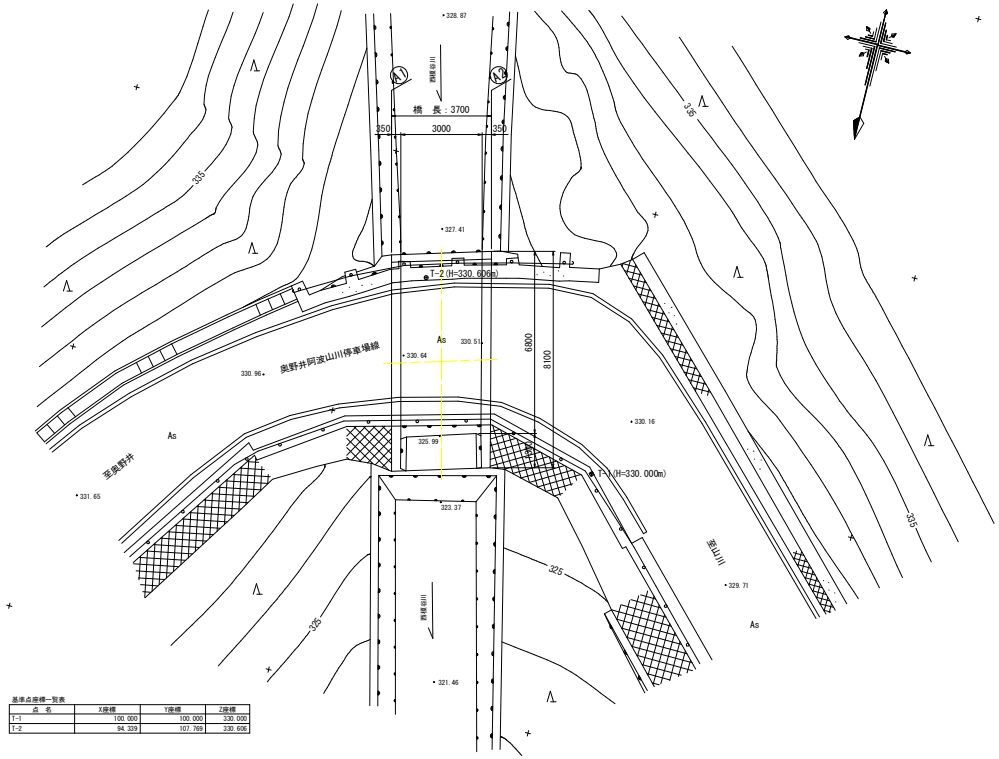
上流側断面図
S＝1：50



下流側断面図
S＝1：50



平面図
S＝1：100

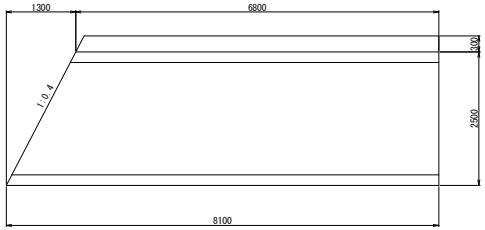


基準点座標一覧表

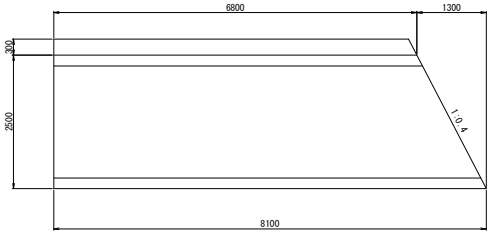
点名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	100.000	100.000	330.000
T-2	94.339	107.769	330.606

側壁断面図
S＝1：50

起点側



終点側



当初設計図面

工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	既設橋梁復元図		
縮尺	図示	図面番号	27 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

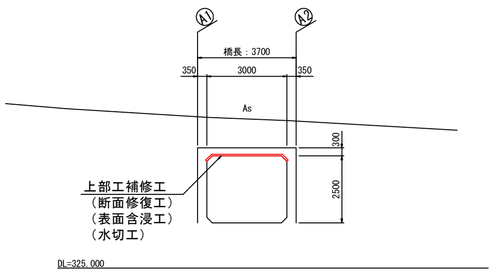
補修計画一般図

〔新5〕

補修工種一覧			
補修工種		補修材料	補修箇所
1上部工補修工	断面修復工 表面含浸工 水切工	ポリマーセメントモルタル ケイ酸塩系含浸材 ゴム製後付水切材	床版下面

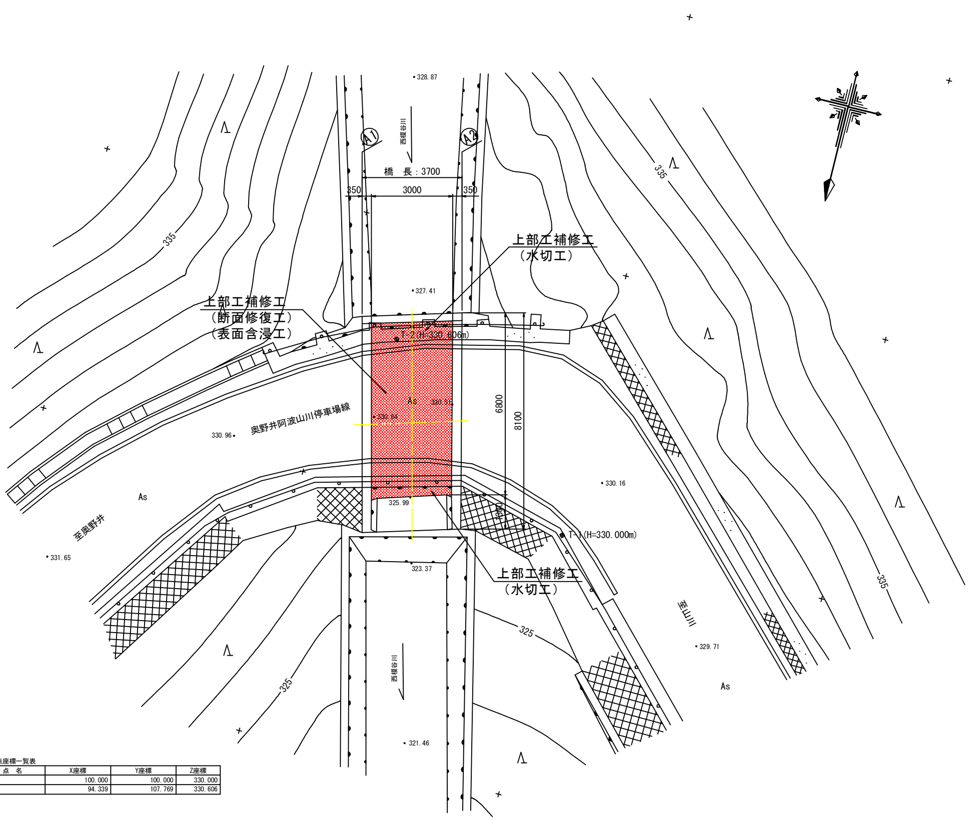
側面図

S＝1:100



平面図

S＝1:100

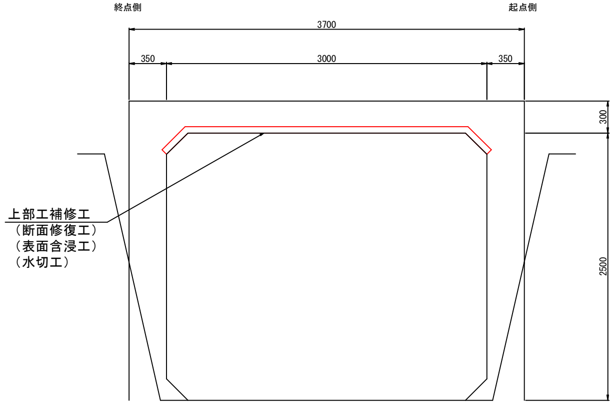


基準点座標一覧表

点　名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	100.000	100.000	330.000
T-2	94.339	107.769	330.606

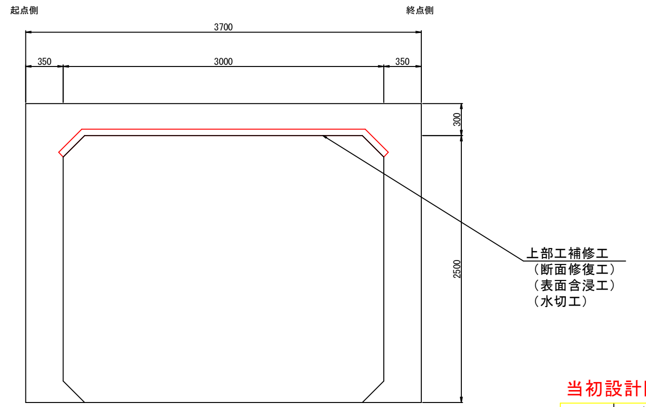
上流側断面図

S＝1:25



下流側断面図

S＝1:25

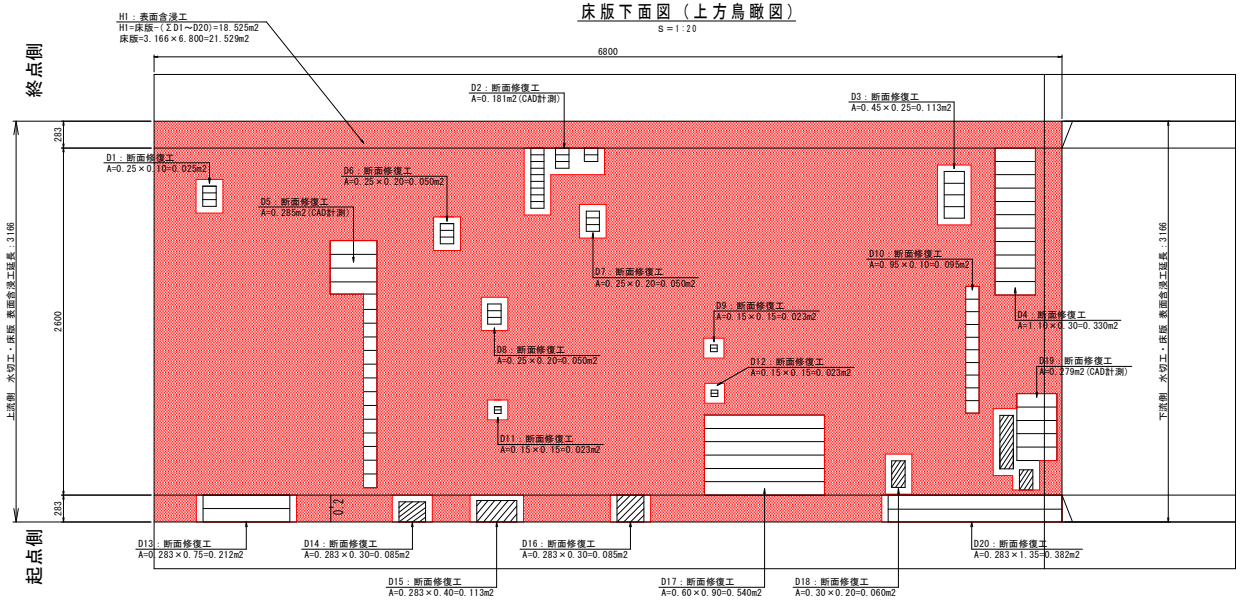


当初設計図面

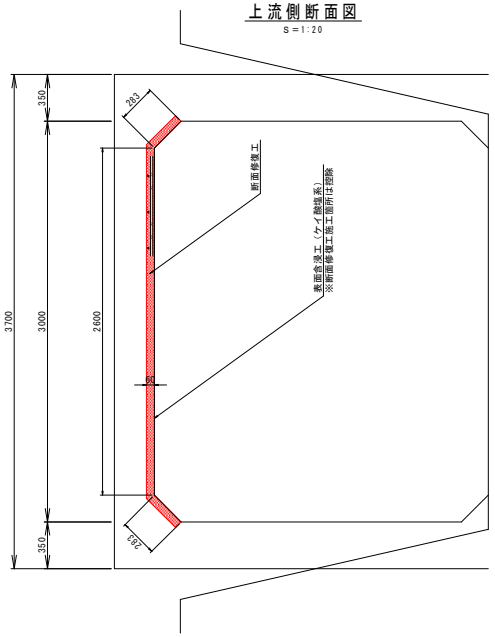
工事名	Ｒ５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）
図面名	補修計画一般図
縮尺	図　示 ／ 図面番号 ／ 28 / 30
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）

上部工補修計画図
〔新５〕

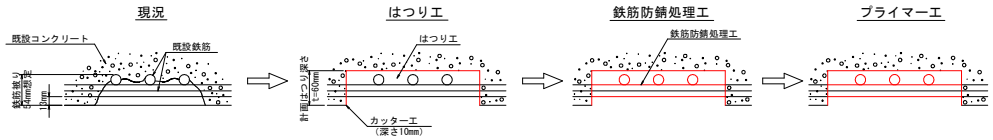
床版下面図（上方鳥瞰図）
S＝1：20



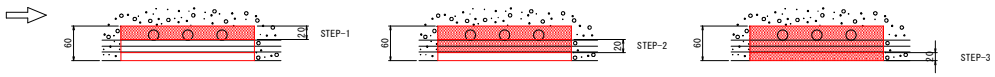
上流側断面図
S＝1：20



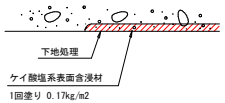
断面修復工 要領図



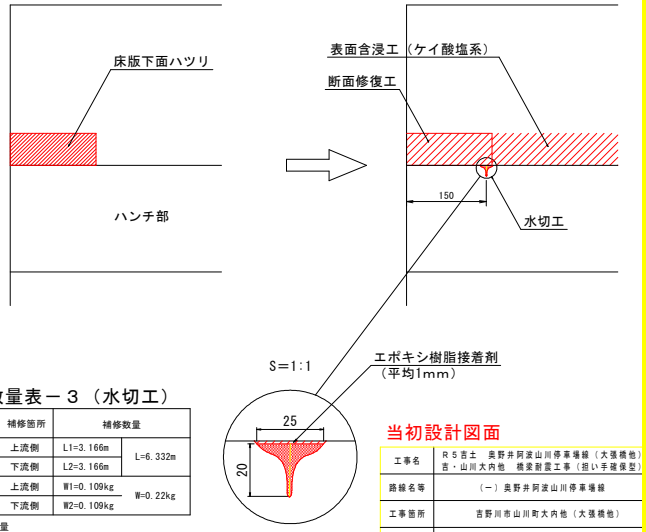
断面修復工〔左官工法〕



表面含浸工 詳細図
ケイ酸塩系表面含浸工



水切工 詳細図
S＝1：5



補修数量表－１（断面修復工）

床版下面					
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m2)	補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m2)
D 1	0.25×0.10	0.025	D11	0.15×0.15	0.023
D 2	CAD計測	0.181	D12	0.15×0.15	0.023
D 3	0.45×0.25	0.113	D13	0.283×0.75	0.212
D 4	1.10×0.30	0.330	D14	0.283×0.30	0.085
D 5	CAD計測	0.285	D15	0.283×0.40	0.113
D 6	0.25×0.20	0.050	D16	0.283×0.30	0.085
D 7	0.25×0.20	0.050	D17	0.60×0.90	0.540
D 8	0.25×0.20	0.050	D18	0.30×0.20	0.060
D 9	0.15×0.15	0.023	D19	CAD計測	0.279
D10	0.95×0.10	0.095	D20	0.283×1.35	0.382
小計 A= 1.202m2			小計 A= 1.802m2		
断面修復工面積 ΣA=3.004m2					
断面修復工体積 W=3.004m2×0.06m=0.1802m3≒0.180m3					

※断面修復の補修厚さは、t=60mmとする。

【施工手順（断面修復工）】
1. カッターエ
深さ10mm程度の切込みを入れる。
2. はつりエ
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマ等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を拡げる。
3. 鉄筋ケレン錆除去工（ケレン）
ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋表面の錆を落とす。
4. 鉄筋防錆処理工
錆落としを行った鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
5. 断面修復工（左官工法）
ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初形状に戻す。
※使用材料は監督員に確認の上決定する。
※1層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性を考慮して設定する。（標準施工厚さ：20～30mm）
※鉄筋の背面に空隙を残さないよう注意する。
※修復後の鉄筋被りが少ない組立鉄筋等は、内側に折曲げて極力被りを確保する。

補修数量表－２（表面含浸工）

補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m2)
H 1	床版-(ΣD1～D20)	18.525
表面含浸工面積 合計		ΣA=18.525m2

※断面修復工施工範囲は塗布しない

工程	使用材料	標準塗布量	塗装方法
下地処理	－	－	サンダーケレン等
1回塗り	ケイ酸塩系表面含浸材（1液性反応性）	0.15～0.17kg/m2	刷毛 ローラー刷毛

施工フロー

下地処理工
↓ 塗布面に付着している・ほこり等を除去。
塗布・含浸工
↓ 標準塗布量（0.15～0.17kg/m2 ）を1回塗布。
養生工
塗布完了後は、塗布面が直接雨等にさらされないよう養生。

補修数量表－３（水切工）

補修材料	補修箇所	補修数量	
水切工	上流側	L1=3.166m	L=6.332m
	下流側	L2=3.166m	
接着剤	上流側	W1=0.109kg	W=0.22kg
	下流側	W2=0.109kg	

※接着剤数量
1200kg/m3×0.001m×0.025m×1.15×L＝0.0345L

当初設計図面

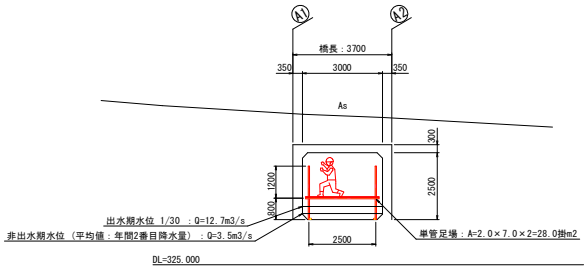
工事名	R５吉土 奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他 橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（－）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	上部工補修計画図		
縮尺	図 示	図面番号	29 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		

足場計画図〔参考図〕

〔新5〕

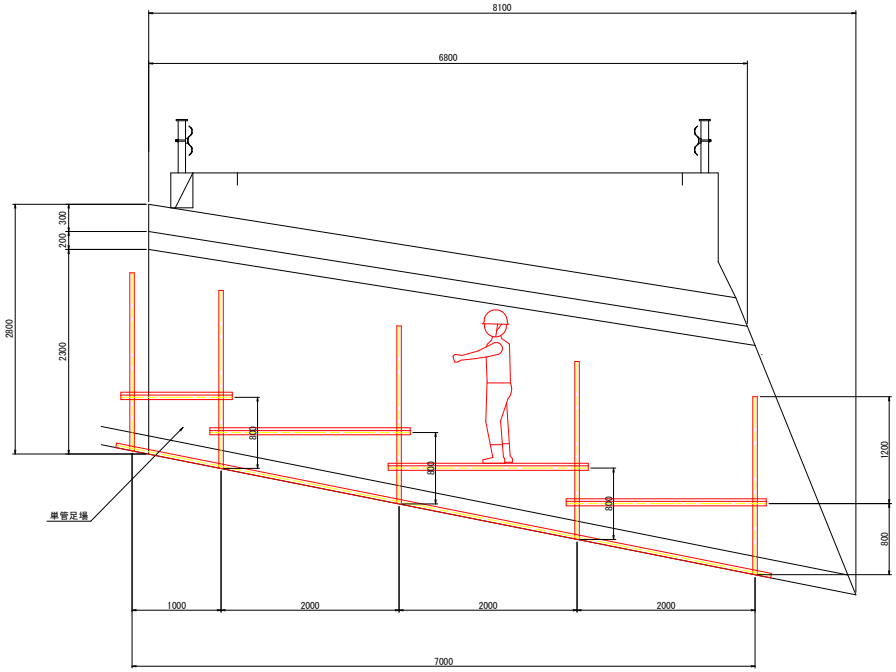
側面図

S＝1：100



単管足場断面図〔参考図〕

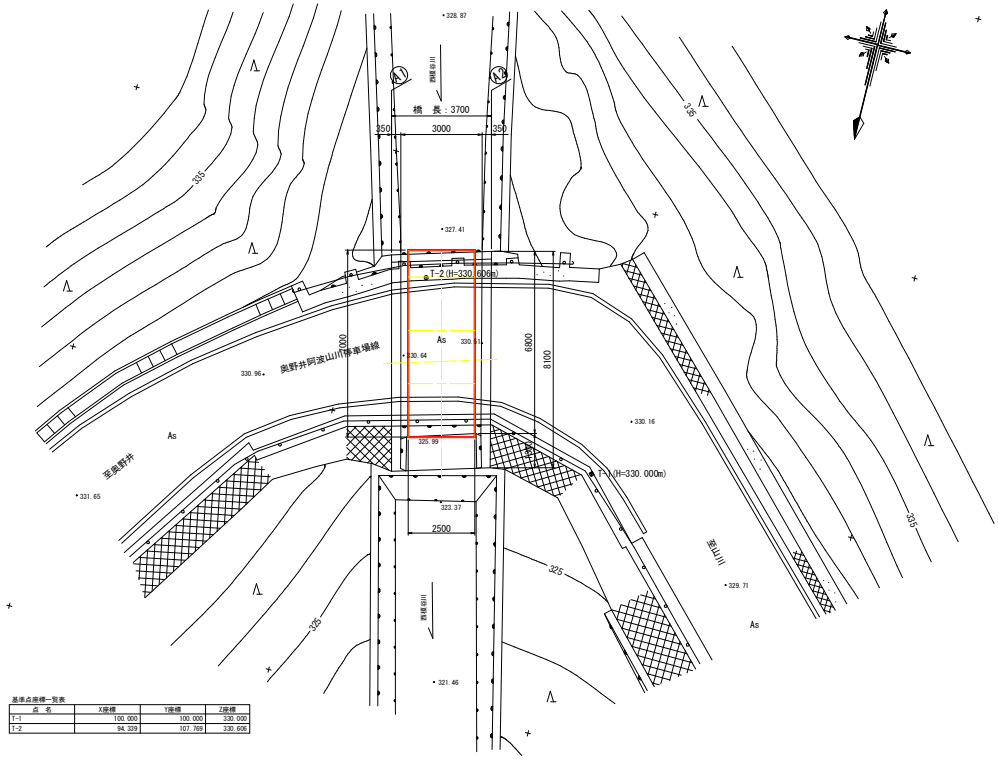
S＝1：30



※BOX内部が急勾配であるため足場が滑らないように河床部を固定するなど、
単管の設置箇所や本数については安全性を確認したうえで適切な配置を行うこと。

平面図

S＝1：100



基準点座標一覧表

点 名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	100.000	100.000	330.000
T-2	94.339	107.769	330.606

当初設計図面

工事名	R５吉土　奥野井阿波山川停車場線（大張橋他） 吉・山川大内他　橋梁耐震工事（担い手確保型）		
路線名等	（一）奥野井阿波山川停車場線		
工事箇所	吉野川市山川町大内他（大張橋他）		
図面名	足場計画図〔参考図〕		
縮尺	図 示	図面番号	30 / 30
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）		